

1. 件名：「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（高浜発電所1号機及び2号機 設計及び工事計画認可申請（使用済燃料ピット用中性子吸収体の廃止等）【8】）」

2. 日時：令和5年5月31日（水）14時30分～16時45分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室

4. 出席者：

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

奥企画調査官、中川上席安全審査官、鈴木主任安全審査官

関西電力株式会社：

原子力事業本部原子力発電部門燃料保全グループ チーフマネジャー 他5名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・資料 1 高浜発電所第1, 2号機審査資料 設計及び工事計画認可申請の概要（1, 2号機 使用済燃料ピットの未臨界性評価変更）【審査会合における指摘事項の回答】
- ・資料 2 高浜発電所第1, 2号機審査資料 使用済燃料ピットの未臨界性評価の変更に係る設計及び工事計画認可申請 補足説明資料
- ・資料 2-1 高浜発電所第1, 2号機 申請書記載内容に関する補足説明
- ・資料 2-2 高浜発電所第1, 2号機審査資料 SFP 水位低下時における不確定性に関する補足説明
- ・資料 3 高浜発電所第1, 2号機審査資料 コメント整理表

以上

| 時間 | 自動文字起こし結果 |
|---------|---|
| 0:00:01 | 研修規制庁スズキです。本日は、関西電力高浜 1 号機SFP設工認の、 |
| 0:00:08 | ヒアリングを行います。 |
| 0:00:10 | 事前に資料が提出されていまして、資料 1、審査会合における指摘事項の回答を、 |
| 0:00:20 | それから資料 2、 |
| 0:00:22 | 補足説明資料、 |
| 0:00:26 | 資料 2-1、申請書の内容に関する補足説明。 |
| 0:00:36 | 資料 2-2、SFPスイテイカジにおける不確定性に関する補足説明。 |
| 0:00:43 | 資料 3、コメント整理表。 |
| 0:00:47 | 以上になるかと思えますけど、関西電力よろしいですね。 |
| 0:00:51 | 東京は、先にちょっと解析関連の方を、 |
| 0:00:58 | やらしていただいて、ヤマモト等はそこまでのパートにしたいと思えます で、申請書の記載資料 2-1 かな。 |
| 0:01:09 | その辺のところは、そのあとのパートでやりたいと思えますそれで |
| 0:01:18 | 解析関連のところは、一通り目を通してますので、 |
| 0:01:27 | 勝関西電力から、特段ここは説明しておきたいというところがなければ、 |
| 0:01:33 | 水を頭から入りたいと思えますのと、あと、後半の申請書の記載のほう のパートですけどこちらは、 |
| 0:01:41 | パッと見ているんですけどまだちょっと読みきれてないところがあるので、 こちらの方は一通り説明をしていただいてから質疑応答に入りたい と思えますけどその流れで、 |
| 0:01:51 | 関西電力大丈夫ですか。 |
| 0:02:00 | 関西電力の富樫でございます。承知いたしました。 |
| 0:02:03 | それではまず解析部分のところちょっと弊社から少し説明させていただ ければと思えます。 |
| 0:02:12 | 検証規制庁スズキですよろしく申し上げます。 |
| 0:02:16 | 関西電力の富樫でございます。 |
| 0:02:18 | そうしましたら前回の審査会合でいただきましたコメントにつきまして少 しご説明させていただければと思えます。資料 3 のコメントリストの中 の、コメントナンバーでいきますと、394041 になりますけれども、 |
| 0:02:34 | こちら、一つずつ行きますけれども、ナンバー39、スイテイカジにおいて SCALE6.0 を適用することの妥当性を示すことにつきましては、 |
| 0:02:44 | 資料の 2-2 年以降ですね。 |
| 0:02:48 | 資料 2-2 の |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:02:50 | 1 ページ目から、2 ページ目。 |
| 0:02:54 | の方にかけて、 |
| 0:02:58 | 項目でいきますと、 |
| 0:03:00 | 1 ページ目の 3 ポツ、 |
| 0:03:03 | のところですね、スイテイカジにおける改正法で議論妥当性についてと、 |
| 0:03:07 | いうところでご説明させていただいております。具体的に今回、少し追加で |
| 0:03:16 | 説明を拡充させていただいたところとしまして 2 ページ目の |
| 0:03:21 | 上の部分ですけれども、 |
| 0:03:24 | 冠水状態から水位 1000mm 程度までの家は横ばいであることから実効増倍率の費用は気相部が支配的であるが、さらに水位が低下した場合には、DL 過剰投資、 |
| 0:03:35 | 気相部が支配的な状態と遷移してきます。 |
| 0:03:37 | で、妥当性確認のベンチマークとしましては、実効増倍率の普及は、気相部が支配的であります。対約 200 ミリ程度の EALF に相当します。約 7 ヘクト. の臨界実験結果含まれておりまして、 |
| 0:03:51 | その C が 1 近傍であるので特異な傾向は見られないと、いうことから、同様に、すべて気相部となる、水位 0 ミイにおいても適用可能であると判断しております。 |
| 0:04:01 | 前回口頭では説明させていただいたと思うんですけどもそれを資料の中によってしっかり説明するということで、こちらに記載させていただいているところでございます。 |
| 0:04:11 | 続いて資料 3 のコメント No. 40 番、 |
| 0:04:15 | ですけれども、冠水時の不確定性を、水位低下事務を適用することの妥当性を示すことと、 |
| 0:04:22 | いうところで、こちら同じく資料としましては、資料 2-2。 |
| 0:04:29 | の、2 ページ目から 3 ページ目にかけて、 |
| 0:04:34 | 項目としましては 4 ポツ、改善結果に対する不確定性というところでまとめておりますけれども、 |
| 0:04:41 | この中で(1)計算コードの不確定性と、それから(2)製造公差による不確定性ということでそれぞれ述べております。 |
| 0:04:51 | (1)の計算コードの不確定性につきましては、 |
| 0:04:55 | ここの部分の後半部分ですけれども、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:04:58 | この計算コードの不確定性が新たな仕様を含む体系でも適用できる側のところですが、 |
| 0:05:03 | その中段に実効増倍率への気相部の寄与が大きくなる定数維持層とのEALFの結果を、計算コードの不確定性の算出に加えた場合においても、 |
| 0:05:16 | 平均誤差、及び計算コードの不確かさに影響ございませんので、低水位状態において適用した場合においても、不確定性の評価とかは変わらずに、マネーによる所に着目したケース。 |
| 0:05:29 | により、算出した値を持つてゐることは妥当であると。 |
| 0:05:31 | いうところをまず計算法の妥当性として述べており、 |
| 0:05:35 | (2)の製造公差による不確定性のところにつきましては、 |
| 0:05:41 | 3 ページ目になりますけれども、 |
| 0:05:45 | 上の、2 段落目ですかね。 |
| 0:05:48 | 第 5 図に示す通り、気相部が存在しない冠水状態から水 1000mm程度までは、実効増倍率が横ばいであり、 |
| 0:05:56 | また図 2、第 2 図におきましても、負の値は横ばいであることから、実効増倍率の寄与は液相が主体的であると。 |
| 0:06:05 | その場合は不確定性を考慮しないのみの実効増倍率と入力値に製造公差を考慮考慮した構造倍率の産業に決定される不確定性についても、 |
| 0:06:16 | 気相部の評価結果に依存しておりますので、気相部に起因する不確定性の変動というのは、 |
| 0:06:22 | 実効増倍率の既往と同様にわずかでございますので、冠水維持の不確定性を大江気相部が主体的な状態に対して適用することは妥当であります。 |
| 0:06:33 | またそこから下って |
| 0:06:37 | またさらにのところですが、 |
| 0:06:39 | さらに水位が低い状態においても、未臨界の性の判定基準となる。 |
| 0:06:44 | 実効増倍率 0.98 に対して、不確定性を考慮しない実効増倍率というのが約 0.90 以下というふうに小さくなっておりますので、改めて不確定性の評価は不要と判断していると。 |
| 0:06:56 | いうところをまとめて記載させていただいておりますのでございます。 |
| 0:07:02 | それから、また、コメント整理表のに戻りますけれども、三つ目、ナンバー41 に対する |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:07:11 | コメントNo. 41 ですが塩素を考慮しない体系での評価結果を示すこと。 |
| 0:07:17 | いうことにつきましても、同じく、資料 2-2 の |
| 0:07:22 | 3 ページ目、文字については 3 ページ目でございますし、 |
| 0:07:29 | グラフ宇津については 23 ページ目。 |
| 0:07:33 | 22 ページ 23 ページ目に載せてございます。 |
| 0:07:41 | 結論としましては、Sを抜いた体系に、 |
| 0:07:45 | おい、 |
| 0:07:45 | おけるは感度解析ケースの評価結果を、図、第 6 図に示してございますけども、 |
| 0:07:51 | 各感度解析 9 ケースにおきましても実効増倍率というのは、冠水が最も高く、水位が低下するに従って単調に減速するという基本ケースと同様の傾向を示すことを確認してございまして、 |
| 0:08:05 | やはり、結論としては入退の判定基準、 |
| 0:08:08 | を満足しております民間に至らないということが確認できると。 |
| 0:08:12 | いうふうに考えてござい。 |
| 0:08:17 | 解析関係につきましては、簡単ですが、 |
| 0:08:29 | 原子力規制庁スズキですではそれでは、 |
| 0:08:33 | 確認に入りたいと思います。 |
| 0:08:37 | まず、 |
| 0:08:39 | 今説明していただいた資料 2-2 の、 |
| 0:08:44 | 1 ページの下側の、 |
| 0:08:49 | 3 ポツのスイテイカジにおける解析コード適用の妥当性の |
| 0:08:55 | 2 段落目のまた書き 2 行ですけど、 |
| 0:09:00 | ここ説明している。 |
| 0:09:04 | 椎葉伊井特区傾向に特異な、 |
| 0:09:06 | 傾向がないと。 |
| 0:09:09 | 確認できると言っているのは、1 段落目の最後の方に書いてある第 1 図のことを、 |
| 0:09:17 | 言っているのかなあというふうに読めるんですけど、もしそういうことであるとここ何で段落バックって書いてあるのかちょっとよくわかんなくて、 |
| 0:09:26 | 単純に 1 段落目の特異な傾向が見られないという話で終わりなのかなと思ったんですけど。 |
| 0:09:35 | ここ私の、 |
| 0:09:37 | 理解が違ってますか、説明してください。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:09:44 | はい。関西電力の平野でございます。 |
| 0:09:46 | この部分に対して、あえて段落は経営させていただいた部分に関しましてはいわゆる図 1 については分数イデ委員会となった実験に対する芝居をし、お示しさせていただいてますけども、 |
| 0:09:58 | それに加えまして第 4 表といたしまして、 |
| 0:10:01 | ページ数で言いますと 13 ページからですね。 |
| 0:10:07 | てみ普段、 |
| 0:10:09 | 実験体系の中で、 |
| 0:10:11 | 減速材となりますアノ水ミストを変化させて、臨界実験、 |
| 0:10:16 | ような時臨界実験に対するベンチマークを実施しておりまして、 |
| 0:10:19 | 当間減速材の密度に応じたあとベンチマークも行っておりますといった趣旨で記載させていただいております。 |
| 0:10:29 | 規制庁それでそうすると、椎葉伊井については、14 ページの第 4 表の、 |
| 0:10:36 | 下側に書いてある、このCは伊井のことをもって特異な傾向がないっていうふうに、 |
| 0:10:42 | 説明されてるっていうふうに今、聞いたんですけれども、傾向ってこれで見れるんですか。何をどんな傾向のこと言ってるんですか。 |
| 0:10:51 | 関西電力の飛田でございます。申しわけでございますこの第 1 図の中では椎葉岩野確認することはできませんけども、こちらの第 4 表のですねえと。 |
| 0:11:01 | 三分の 2 の部分ですね、こちらの下のところですね実験体系ごとの平均縛りの方を記載させていただいておりまして、こちらに対しても特異な傾向がないこと。 |
| 0:11:11 | を確認させていただいて、 |
| 0:11:13 | 規制庁そうですねはい、第 4 表の、 |
| 0:11:17 | ここのCbyE-を数値を見て特異な傾向がないという説明だっ理解したというふうに先ほど私申し上げて、 |
| 0:11:25 | ここに書いてある数字で、特異な傾向がないって、どういうふうに説明できるものなのかよくわからないんですけど。 |
| 0:11:35 | 度、特異な傾向がないかどうかっていうのこれ何をどう見ればわかるんですか。 |
| 0:11:45 | と関西電力の平塚衛藤。 |
| 0:11:47 | 申し訳ございませんけど、こちらすべての点に対してこちらの |
| 0:11:52 | 定数水味噌状態の臨界実験のみを抽出したと。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:11:57 | ちょっと数は、 |
| 0:11:59 | 設定はおりませんけども、 |
| 0:12:02 | この実験系に関しましては、 |
| 0:12:05 | 第 4 図ですね、こちらの |
| 0:12:09 | そうですね。ちょっと、 |
| 0:12:13 | はい。第 3 図ですとか、第 4 図、第 3 図ですね。あと、 |
| 0:12:19 | 妥当性確認に用いましたベンチマーク実験のEALFと椎葉こちらの中に 溶け込みになっているものでございまして、こちらの中の全体の傾向を 見ましても、 |
| 0:12:30 | 特異な傾向を示しているものではない。 |
| 0:12:33 | ではないということは確認できるかと思う。 |
| 0:12:42 | 規制庁スズキですけど、第 3 図の話は、 |
| 0:12:47 | 3、第 3 段落目に書いてあるんですけど、 |
| 0:12:51 | 私今聞いているのは、第 2 段落目の、 |
| 0:12:55 | CIの傾向に特異な傾向がないことを確認できるってということについて、 第 4 表ではない、第 3 図ですって今、 |
| 0:13:04 | 何か話があったんですけど、そうするとそれは、第 2 段落目の話は、 |
| 0:13:09 | 3 段落目の話と同じことなんですか。 |
| 0:13:15 | 結局何をもって特異な傾向がないということ、何について説明しよう としてるのかちょっとよくわからなくてですね。 |
| 0:13:29 | 関西電力の平野でございます。 |
| 0:13:31 | 当第 3 図におきまして今回の妥当性確認に用いましたベンチマーク実 験とのEALFと椎葉委員の関係性すべてプロットさせていただいており ますけども、その中にこの 2 ページ、 |
| 0:13:44 | 1 ページ目の第 2 段落また、から始まっております低水密度状態の臨 界実験、こちらのプロットがすでに溶け込みになっているものでございま す。 |
| 0:13:53 | なので今回低水密度状態での限界実験のみを抽出してプロットというも のは示させていただいておりませんが、こちらの第 3 図のプロット全 体確認いたしますと、特異な傾向ございませんので、 |
| 0:14:05 | ちょっとそちらをもちまして当特異な傾向は持っていないということをご 説明させていただいている次第でございます。 |
| 0:14:13 | 規制庁数でそれはだから、 |
| 0:14:18 | 等、 |
| 0:14:22 | 第 3 段落目の第 3 図で、特異な傾向が見られていないっていうのが、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:14:31 | 上、 |
| 0:14:32 | 2 ページ目の 2、6 行目に、5 行目下を書いてありますけど、 |
| 0:14:38 | それと同じことを言っているのであれば、何かちょっとまた書きで、第 4 表の話だけにしてるような、 |
| 0:14:46 | ことを書いてても何か意味がないような気がするんで、そこは、 |
| 0:14:52 | まとめて書いていただいた方がいいような気がするんですけど、いかがですか。 |
| 0:14:58 | 関西電力の日向 |
| 0:15:00 | と、 |
| 0:15:01 | スズキがおしゃれられておりますように全体としての傾向を確認しているものでございますので、まとめて記載の方、検討させていただきたいと思ひ |
| 0:15:14 | はい、原子力規制庁スズキですじゃそこは、資料を直していただくということで、 |
| 0:15:20 | それからですね今同じところの、 |
| 0:15:26 | 2 ペー、1 ページ目の最後の 3 段落目の、からのところですね 2 ページ目にかけてですね、 |
| 0:15:35 | ここで、 |
| 0:15:40 | 臨界実験の話は、AAF200 ミリ、 |
| 0:15:45 | 水 200 ミリ程度の家相当する。 |
| 0:15:49 | 約 7 エレクト論ボルトの臨界時期が含まれており、そこはそうそうだな事実だなと思ってんすけど、 |
| 0:15:56 | その文書の最後の同様にすべてが気相部となる水位 0 において 0mm においても適用可能であると判断しているってところが、 |
| 0:16:06 | どういう判断かいまいまだにわかってないんですけど、 |
| 0:16:10 | ここの記載からすると、すべてをカバーしていないんだと。 |
| 0:16:17 | いうことを言っていると思っているので、申請書をちょっと見ていただきたいんですけど。 |
| 0:16:27 | 申請書の |
| 0:16:28 | 添付資料 2 の別紙 1 の SCALE コードの、 |
| 0:16:33 | 会概要の妥当性確認ところですね。 |
| 0:16:38 | ページで言うと、別紙 1 の 3 ページかな。 |
| 0:16:56 | ない。 |
| 0:16:57 | 開けません。 |
| 0:16:59 | 大丈夫ですか。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:17:01 | 別紙 1 の 3 ページの一番最後の注ポツ見てもらいたいんですけど、 |
| 0:17:07 | 本設工認における用途適用範囲が上述の妥当性確認の範囲内であることを確認しているってこれ上述ってのは、 |
| 0:17:15 | ベンチマークの臨界実験、 |
| 0:17:18 | ケースのこと言ってるんですけど、 |
| 0:17:21 | つまり、 |
| 0:17:23 | 今回やった解析の範囲っていうのは、 |
| 0:17:29 | 国際ベンチマーク臨界実験の範囲の中でやってるんだって書いてあるんですけど、 |
| 0:17:33 | 今の資料 2-1 の、 |
| 0:17:37 | 2 ページの上段のところLowerアノ一部入ってません。判断が入りまして書いてあつてですね。 |
| 0:17:45 | 説明が違うと思うので、 |
| 0:17:48 | ここを、 |
| 0:17:51 | 当然直さなきゃいけないことになると思うんです。なお、直すとしたらそこはどういうふうに説明されるんですかね。 |
| 0:17:59 | 結局結局だから、水位 0 から 200 ミリぐらいのところの話っていうのは、 |
| 0:18:05 | 何、先ほど言いましたけど、何で判断してるかちょっとわかんないですけど何かしらなんか判断材料があつて、 |
| 0:18:12 | それも大丈夫だつていう話の、 |
| 0:18:16 | 2 段論法的な話になるのかなと思うんですけど。 |
| 0:18:24 | 関西電力の福原です。この部分はですね |
| 0:18:30 | 上、 |
| 0:18:31 | 下から 4 行目ぐらいのところ、基礎分がほぼほぼ支配的になる水位、200 ミリ程度の結果はまずも含まれてますので変な結果も出てませんと。 |
| 0:18:44 | ということなのでそこからさらに少し |
| 0:18:50 | ストレッチしてっていう鈴木さんの言葉を借りればですけども、さらに全部沖総合になる整備 0 においても適用可能であるという趣旨でここは語っているのは、我々の趣旨でございます。 |
| 0:19:05 | はい、原子炉規制庁鈴木です。まさにだから私は審査会合で行ったストレッチって言い方したところが、 |
| 0:19:12 | 申請書とまず合っていないので申請書は、事実と今回の事実と違うということで、直されると思うんですけど。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:19:20 | ストレッチしましたでは、判断じゃなくて、ストレッチできる何かの判断材料があるからストレッチしてる。 |
| 0:19:27 | ということになるんですね。 |
| 0:19:29 | よくよくやるなの。 |
| 0:19:32 | データの範囲を内挿するのはいいけど、ガイソウは、 |
| 0:19:36 | できるかどうか、ちゃんと考えてねって言い方しますよね。それと全く同じだと思ってて、 |
| 0:19:42 | そのの、 |
| 0:19:43 | 反対について前回もいろいろ審査の中で議論したんですけど最終的には、 |
| 0:19:48 | よくそこストレッチするということまではわかったけど、そこについては、 |
| 0:19:53 | 確認が取れてないので今後確認していきますっていう話で終わったと思っていて、だからその判断の材料が駒田書かれていないので、 |
| 0:20:03 | もう少し何か書いていただかないと、なぜストレッチできるかで、ストレッチして、ストレッチし、しないと、カバーできないんだっていう、 |
| 0:20:14 | どっちが取り方がいいですけど、申請書は何かしら記載が変わるんだろうなと、カバーしてるって言い切れないので、 |
| 0:20:28 | そこを今の時点で、 |
| 0:20:32 | 答えなくてももう一度考えていただければいいと思いますけど。はい。関西電力の福原です今日時点のお答えとしてはもう今日この資料に書いてあるところまでが我々の材料です。 |
| 0:20:44 | もう 200mm ほぼ、全部がもう気相部になって 202 類で使えるんだから、全部気相部になっても使えると。 |
| 0:20:53 | こういう、 |
| 0:20:55 | ところなんですけどもそれ一では、 |
| 0:21:00 | 等やっぱり弱いっていうか、何かお金もう少し材料が要るっていうことなんでしょうか。はい。規制庁宗です。弱いというか、今申請書ではカバーするっていうふうに書いてあって、 |
| 0:21:10 | 事実としてはカバーできない領域が一部あって、 |
| 0:21:14 | 7 エレクト論ボールという高いような、 |
| 0:21:17 | ところのEALFの、 |
| 0:21:19 | 水状態っていうのは、若干そこカバーできてない。だから、 |
| 0:21:23 | 申請書としてはカバーできないけど大丈夫なんだっていう、 |
| 0:21:28 | コード野瀬妥当性確認の説明になるのか。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:21:32 | という思うんですけど、ただ、そこ、 |
| 0:21:36 | カバーできてないけど大丈夫だっていう話が、 |
| 0:21:39 | 200ミリが、 |
| 0:21:41 | よく合ってれば、0mmも合うんですけどっていうのが、 |
| 0:21:49 | 何も説明がないような気がするんですけど。 |
| 0:21:52 | ほぼ 200 ミリで補アノ 200mmの推移でほぼ、 |
| 0:21:57 | ほとんど気相部になってるっていう、それは、 |
| 0:22:01 | 概念的な話であって、 |
| 0:22:04 | 今、気にしないで炉物理的な話として、なぜこの 200mmのときに、 |
| 0:22:10 | 0mmと同じような、 |
| 0:22:12 | 状態を表しているっていう得るのかどうか。 |
| 0:22:19 | やっぱりそこは何かしら、 |
| 0:22:22 | 理論的にやっぱあるはずなんですよね。 |
| 0:22:26 | 関西電力の福原です。ちょっと今日の資料にはそこまで書けてないんですけども、水位が 0mmっていう状態は、 |
| 0:22:37 | 従来のいろんな他プラントも含めてそうなんですけど水密度を一応 2、1 から 0 まで変化させてときの水位 0。 |
| 0:22:49 | 水密度 0.0 っていう状態を空間的に実現している状態と同じG、 |
| 0:22:55 | だと思います。でするのでそうそれで企業が確保多数の強化認可においてそれでこのコードを適用してきているということは、 |
| 0:23:08 | プロセスは違いますけれども水密度をずっと水位を下げていって 0 になったっていうことと、水密度空間的に 1 から理論的に、0 まで薄めていったっていう状態。 |
| 0:23:19 | プロセスは違いますけれども行き着いた先が水位 0 すっからかんだというところは、状態として同じですので、その状態に対してこのコードが使えるということはいえるのではないかと思います。 |
| 0:23:32 | 規制庁スズキでそうすると、いや、今、今の話聞くとね、もう一つ疑問が出てきて、 |
| 0:23:38 | 新規制のときに、いや、だから結局、 |
| 0:23:41 | EALFがもっと大きいところまでもやってた。 |
| 0:23:45 | ような、 |
| 0:23:47 | 感じで説明しているように聞こえるんですね。 |
| 0:23:50 | いや、要するに例えば、今、水位ゼロだとかないだの審査会合で、50 ミリ、56 トンボルトぐらいだみたいな話になってたと思いますけど。 |
| 0:24:00 | いや、新記者榎田ってそこまでやってたんです。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:24:03 | あとその新規性の記載も同じで、 |
| 0:24:06 | 国際ベンチマークでカバーできてるって説明してたんですね、解析コードの妥当性確認、説明として、いやそうしたら何かあるんじゃないですか、新規制のときに、 |
| 0:24:16 | 関西電力の平でございます。 |
| 0:24:18 | 投信規制の時はですねいわゆる液膜等が存在しない。完全に減速剤自体がなくなる形でございますので、何度かお話をさせていただいておりました |
| 0:24:28 | 椎葉飯野堀田の一番右の、 |
| 0:24:31 | 点がございますけども、あそこの高速中性子の領域におきましてSmith密度ゼロの部分のカバーさせていただいたと。 |
| 0:24:38 | いった次第でございます。 |
| 0:24:40 | うん。いや長規制序数で結局その話に戻っちゃうってことなんですか。そうですね。なのでそれについては前回、炉物理として、 |
| 0:24:48 | 若干そこは飛躍し過ぎてるよって話は、お互い了解になったと思っているので、 |
| 0:24:54 | そこまで行かずに、 |
| 0:24:57 | 共鳴領域に本当に入っていないかどうかわからないにしても、56tボードぐらいまで若干ね、熱領域より1桁高いような、ハタケたぐらいのかな。 |
| 0:25:06 | 高いようなところ。 |
| 0:25:07 | ところに、 |
| 0:25:09 | 足が踏み込んだとしても大丈夫なんだって話が、 |
| 0:25:14 | やっぱ何かしら炉物理的に、 |
| 0:25:16 | 説明ができるからこそ、EALF7 エレクト論ボルト |
| 0:25:21 | あたりの計算ができてれば大丈夫なんだって話になるんだと思うんですけど。 |
| 0:25:27 | やっぱ今回ね大分こう精緻にやるようになったので解析条件精緻に定めて精神解析するようになったと私は思ってるので、 |
| 0:25:36 | やっぱりその辺もあまりアノ妥当性確認ところも、ざっくりいかに、 |
| 0:25:40 | やっぱりそこをもう少し精緻に議論さ、説明された方が、 |
| 0:25:45 | 納得しやすいと思うし、あまりそこを乱暴にやり過ぎないほうがいいと思うんですけど。 |
| 0:25:52 | 関西電力の平野でございます。 |
| 0:25:55 | 藤。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:25:57 | と記載内容は少々検討させていただきますけども、例えばですけども今別添 2 の中でございまして、過去の類似解析との比較。 |
| 0:26:06 | というような形で今回のベンチマーク結果ノダとベンチマーク比較 |
| 0:26:11 | つきの妥当性、 |
| 0:26:13 | を示させていただいておりますのでこういった記載をもとに、ちょっとなよう検討させていただきたいなど。 |
| 0:26:20 | 考えているんですけども。 |
| 0:26:24 | 規制庁スズキイソベ、具体的に別添 2 の何ページの話ですか。 |
| 0:26:43 | すいませんか。関西電力の富樫でございます。 |
| 0:26:46 | すいませんちょっと私も、主趣旨理解できてなくて申し訳ないんですけども、その物理的な話というのが、一体どういうイメージなのかなというのが、つまりちょっと正直わかっておらずですね |
| 0:26:58 | 我々としてはこのEALFで見えておまして、このUfもある意味核熱記憶する中性子のエネルギーというところで、アノ移的といえ物理的なのかなというような会社もあるかなと認識しておるんですけども、 |
| 0:27:20 | 教えて。 |
| 0:27:23 | 規制庁スズキですね。だから、EALFで 709 トロンV 超えて、50ft トロンV ぐらいまでのところが、 |
| 0:27:31 | 79Tモードができればなぜできるのかっていう説明が何かあるんじゃないですか聞いてるんですけど。 |
| 0:27:38 | 関西電力の富樫でございます。その部分がまさに、ちょっと今回つい書かせていただいている、200mmのところっていうのは、もうほぼほぼ気相部の状態ですよと。 |
| 0:27:49 | つまり、気相部がメインの体系に対してしっかり計算できていますよねと測定値と計算値がちゃんと合ってますよねと。 |
| 0:27:57 | 木曾オカダ湊な解析、 |
| 0:27:59 | ケースに対してですね。 |
| 0:28:01 | それをもって、 |
| 0:28:04 | 仮に液相がすべてになったとしても、それはしっかり計算できますよねと。 |
| 0:28:10 | そういった趣旨のここは記載になってございます。 |
| 0:28:13 | 規制庁するそれがないウテロンボルトが閾値になってるんですか。 |
| 0:28:19 | 現在、衛藤。 |
| 0:28:21 | 今回の評価体系で |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:28:24 | 集めて選定したベンチマークとしては、7 エレクト論ボルトのところがあったというところで、そこを確認したところ、しっかりCbyEが合っていたので、 |
| 0:28:35 | であれば、0 水 0 のところでも、それは同様に、計測定値と計算値がしっかり合う。 |
| 0:28:44 | と、そういった判断というところでここ、 |
| 0:28:47 | 規制庁スズキです聞いているのはそういうことじゃなくって、 |
| 0:28:50 | 対 200 ミリ程度のEALFの、 |
| 0:28:55 | が7 エクセロンボルトぐらいでした。そこが計算できていたらほぼほぼ気相が支配的であるっていうふうに、 |
| 0:29:03 | 考えているだけであって、 |
| 0:29:05 | そうであるって。 |
| 0:29:07 | 何をもってそう。 |
| 0:29:09 | 判断しているんですか。 |
| 0:29:11 | 7 ヘクターをボードと 50 エレクトの事は同じなんです。同じ計算してるんですけどっていうふうに、今言ってるように凍るんですけど、何か感覚でしかないような気がして、 |
| 0:29:24 | それは何かやっぱ感覚じゃなくて何かしらはっきりしたものがあるんじゃないんですか。 |
| 0:29:29 | 関西電力の富樫です。 |
| 0:29:30 | 今おっしゃられているのはその 200 ミリ。 |
| 0:29:35 | のところはほぼ基礎分、 |
| 0:29:38 | だっていうところが、本当にそうかとおっしゃって、気相部が規制庁そういう気相部であるかどうかじゃなくて気相部であるのはもう明らかですよ。ね。3700mmぐらいの有効長に対して、 |
| 0:29:51 | 3500 ミリが来そうなんで、誰が見たって、気相部がほとんどだ。いやでもこれね炉物理的に、 |
| 0:29:57 | その長さが、 |
| 0:29:59 | 意味があるのかどうかって話で、 |
| 0:30:02 | 200mmの推移に対して、3、3500mmの気相部っていうのが、 |
| 0:30:08 | 炉物理的に気相部が支配的な中性子の挙動を、 |
| 0:30:13 | をね、示しているんだってことを、 |
| 0:30:15 | どうやって説明するんですかって聞いてるんですよ。 |
| 0:30:20 | それは何か感覚じゃないんですかっていう、サカイ言ってるんですけど。 |
| 0:30:24 | 寸法の話と、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:30:27 | 炉物理の中性子の挙動の話って私違うと思ってるので、 |
| 0:30:32 | 炉物理的何かやっぱ説明ができるからこそ、7 エレクト論ボルトの状態だろうが、 |
| 0:30:39 | 50 エレクト論ボルトの状態は変わらないんですって話が何かできるんじゃないんですかってそういうことを聞いてるんですけど。 |
| 0:30:47 | それだからこそ、ストレッチしてもいいんだって話になると思ってて、 |
| 0:30:53 | 何か私の言ってることと違いますかね。 |
| 0:30:56 | 違うんで。だったら違うと明確な理由を言っていたきたいんですけど。 |
| 0:31:02 | 関西電力の富樫でございます。おっしゃっていただいているのはその他体積的な観点で見て、気相部へ気相部。 |
| 0:31:11 | 気相部が支配的っていうのは、あまり意味がなくて、その炉 |
| 0:31:17 | EALFふうとして、 |
| 0:31:22 | そのナガエエレクト論ボルトが支配的。 |
| 0:31:25 | だと。 |
| 0:31:27 | 規制庁する月アノEALFで説明しようとしてるのは関西電力さんなので、 |
| 0:31:32 | 我々はEALFが7 エクセロンVと 50 エレクトロボと同じことを説明してくださいって、炉物理的に説明してくださいって聞いてるんですよ。 |
| 0:31:42 | 7 ヘクターをボールだとい気相部が支配的にならないんですかって聞かれたってそれは知りませんよ。関西電力そう説明してるだけなんですから。 |
| 0:32:06 | 規制庁宗です。この話で許可のときからずっと議論してるんですよ。関西電力がEALFで説明できるんだって言い張ってるから、我々聞いているだけなんですよ。 |
| 0:32:17 | EALFでそれが説明できないんじゃないのって私たちの義務をずっと投げかけてるわけです。 |
| 0:32:25 | 今もそれを投げかけて、我々はいまだに、 |
| 0:32:28 | 頭ん中クエスチョンマークなんですよ。 |
| 0:32:35 | よくよく許可のときの議論を思い出していただきたいんですけど。 |
| 0:32:41 | すいません、関西電力の福原です。 |
| 0:32:47 | 鷺見さんおっしゃってるのは、水が 200 ミリですと、三田名の数、液相部と気相部の大きい小ささ。 |
| 0:32:59 | だけを見てそれは気相部がほぼほぼ大きいですよってそれはわかると。うん。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:33:04 | それはわかるんだけど、実効増倍率への影響が、体積的にはすごく小さいごく一部かもしれないけども、気相部が頑張ってる、この実効増倍率を生み出しているのではないですかと。 |
| 0:33:20 | 本当に気相部が寄与して生み出しているんですねそれをeffでご説明なさるならそれをちゃんとしっかり説明してくださいということをおっしゃっているように聞こえてるんですけどそれで合ってますでしょうか。 |
| 0:33:34 | 規制庁数字でその通りです。 |
| 0:33:54 | 規制というものです。そもそもですね、 |
| 0:33:57 | 気相部へ気相部って分けて考えることに何か意味があるのかなっていうのが、例えば中性子って、 |
| 0:34:04 | 別に基礎だから、この飛び方しましょうねって考えるわけじゃないですよ。どっちかというと、 |
| 0:34:09 | はっきりしてるイノウエ気相部については完全に原則が行われてて、気相部についてはかなり減速不足であるという事実だけなんですよね。あとは |
| 0:34:19 | 推移で比率が変わるだけです。 |
| 0:34:22 | 今 200 まで。 |
| 0:34:23 | みたらオーケーでしたと、じゃあどこまでいったら当然気相部の方が強いわけだから、 |
| 0:34:29 | 上がるのは当然ですねだからそれがLf2、 |
| 0:34:32 | 全部反映してるわけですよ。 |
| 0:34:35 | だから、 |
| 0:34:36 | いわゆる気相部が大部分占めてるからというのは、結局、さっきもちょっと話ありましたけど物理的には、 |
| 0:34:46 | あんまり見なくて、どっちかというと、液相部と気相部の、その中性子スペクトルの比率が、 |
| 0:34:52 | どう変わったかという話なんで、 |
| 0:34:55 | 多分その結果上がってるじゃないですかと。 |
| 0:34:58 | 200 じゃ駄目で 0 まで見ないと駄目じゃないですかっていう話に。 |
| 0:35:02 | これ、当然なるわけですよ。 |
| 0:35:07 | だから、それは前もちょっと疑問申し上げたんですけど、本当にその下まで全部、 |
| 0:35:13 | 制度をですね、詰める必要があるのかっていうのは疑問になってというのは、 |
| 0:35:19 | これ、3 ページにちょっと書かれてるようなやつですけど。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:35:23 | 水位が低い状態で、 |
| 0:35:28 | 作成不確定性評価を不要としている理由としてですね実効増倍率が0.9以下と小さいためって書かれて、明らかに所々ずれても未臨界性が深いから、 |
| 0:35:39 | やる必要ないというふうに読めるんですが、 |
| 0:35:42 | そういう考え方をもしとるならば、その200で、 |
| 0:35:47 | もうこれ以上、非常に低いからという言い方はあるんじゃないかなって気は私はしてるんですけどね。だから、 |
| 0:35:55 | すべての領域をですね全部FFで、 |
| 0:35:59 | 全部説明しようとするとかこれ破綻するなというのが私の |
| 0:36:03 | 意見。 |
| 0:36:10 | 関西電力の福原です。今の山本さんのお話を |
| 0:36:16 | お聞きしているとうもう何も頑張ってるような推移0まで、妥当性確認。 |
| 0:36:24 | Cしなくてもいいんじゃないかっていう、 |
| 0:36:28 | 聞こえたんですけど、規制庁数ですとそこの言葉じりだけをとらえるとおかしくなっちゃうので、よく考えてもらいたいんですよ。実はですねこの後、 |
| 0:36:38 | 申請書の記載のところでも、 |
| 0:36:40 | 話しようと思ってたんですけど、資料ちょっとずっと飛びますけど資料2-1のですね。 |
| 0:37:18 | 別紙6で7ページでいうと16ページ。 |
| 0:37:23 | ですね。 |
| 0:37:33 | 16ページの両括弧3のaポツの2行目なんですけど、 |
| 0:37:39 | 判定基準とかで感度解析ケースについて触れていて、感度且つケースにおいて特異な傾向がないことを確認するみたいなことを、 |
| 0:37:47 | 言ってるんですけど、これこんなことは我々全然思っていないくて、 |
| 0:37:52 | もうすでに許可のときの審査書で我々もはっきりそこは表明しているんですね。 |
| 0:37:59 | ちょっと皆さん |
| 0:38:03 | 規制庁のホームページを参照できるのであれば、 |
| 0:38:07 | 許可、 |
| 0:38:09 | 去年の12月21日だったかな。 |
| 0:38:13 | 規制委員会の、 |
| 0:38:15 | 許可の審査書をちょっと開いていただきたいんですけど。 |
| 0:38:29 | 去年の12月21だと思いましたが、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:39:09 | 救急だったな。 |
| 0:39:13 | ごめんなさい日付が違ったかもしれないす。いえ。 |
| 0:39:15 | 合ってますね。はい。 |
| 0:39:18 | はい。その中の委員会のペーパーの後ろの方にし、 |
| 0:39:24 | 審査章がついていると思います通しページで10数ページ以降について るとと思いますけど、 |
| 0:39:35 | その審査書の審査書のページ数でいうと、 |
| 0:39:40 | 12ページを開けますか。 |
| 0:39:44 | 小さい文字で審査書の通しページが、 |
| 0:39:48 | ついてますけど、 |
| 0:39:57 | そう。その前のページから、審査過程における主な論点ということでき と説明してて、 |
| 0:40:04 | 真ん中あたりから申請者のくだりになるんですけど、 |
| 0:40:08 | まず基本ケースについて書いてあってその次に最後また書きで、 |
| 0:40:13 | 感度解析ケースのことを書いてまして、どんな解析条件設定しますかっ ていうのを、次のページに続けて書いてあって、 |
| 0:40:21 | 二つ目の中ポツで、感度解析ケースの意味合いを、 |
| 0:40:25 | 示してますけど、 |
| 0:40:29 | すべての感度解析ケースでも、基本ケースと同様に、 |
| 0:40:33 | 中性子最適減速状態、要するに水がずっとしていつて気相部が露出し てきたときの気相の、 |
| 0:40:41 | 希薄な水密度の状態を注水、減速状態が悪くなってきますけどこれが、 |
| 0:40:48 | あるところまで三つ上がってくると、最適減速の状態になってくるわけ すね、そこを修正し最適減速状態って言ってますけどそういう。 |
| 0:40:56 | 最適減速状態を発現せず、実効増倍率は、 |
| 0:41:01 | 燃料体が完成した水を最大として水位の低下と、ともに単調に減少し、 最大値が臨界防止の判定基準以下となる。 |
| 0:41:10 | すなわち水分条件これ気相部分の水分条件の話してますけども不確か さの影響は、 |
| 0:41:16 | 冠水状態の最大値未満である。 |
| 0:41:19 | これが重要で、 |
| 0:41:21 | こういう状態であるからこそ、 |
| 0:41:25 | 水位が0まで落ちるようなところまで、 |
| 0:41:28 | 本当に議論しなくたっていいんでしょうっていうのがまず前提にあるはず なんですよ。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:41:34 | これが感度解析の意味合いで、 |
| 0:41:38 | 次いですアノちゅ最適減速状態が例えば感度解析ケース 2 とかで出てきたとしたら、単調減少しなくて、どっかでひゅっとうナカヤマなりになった。 |
| 0:41:48 | ピークがどっかでまた二次ピークみたいな感じで出てくる可能性があつて、 |
| 0:41:52 | 或いはどっかプラットみたいなついうようなところが出てきたりとかする可能性があるんで、 |
| 0:41:56 | そういうのがないことを感度解析でしっかり確認して、もう単調減少になっているんだと。 |
| 0:42:03 | 不確かさを考慮しても単調減少って傾向は変わらないんだ。 |
| 0:42:07 | だからこそヤマモトがさっき言ったように、 |
| 0:42:09 | 無理に、 |
| 0:42:11 | 水位 0mmまで、 |
| 0:42:13 | かっちりやりましたって言わなくてもいい理由はあるよねと。 |
| 0:42:18 | そういう話なんですよね。 |
| 0:42:21 | で、別にやったっていいんですよ。 |
| 0:42:23 | やったっていいけど、 |
| 0:42:25 | やる意味合いがないのにそこをしっかりと説明できないことがネックになってるんであれば、 |
| 0:42:31 | まずはその全体像として、今やろうとしてる解析っていうのは、そんな水位 0 のところまでやる意味合いはないんだっていうところで、 |
| 0:42:39 | まず一つ切るっていう手はあると思いますよね。 |
| 0:42:43 | ということをやマモトは言いたかったんです。 |
| 0:42:45 | 切り出してそこだけやなくていいですかって話じゃないんです。 |
| 0:42:50 | ちょっとす。 |
| 0:42:52 | そそういう、そういう、そういうことをしっかりと考えた上で全体として、 |
| 0:42:57 | どこまできっちリアノ妥当性確認しなきゃいけないのか。 |
| 0:43:03 | ここまで妥当性確認し、ここまでしか妥当性確認できないけどここまでやとけばいいんだ。 |
| 0:43:09 | ていう何か話があるんだったらもうそれで、 |
| 0:43:11 | いいわけですし、 |
| 0:43:15 | 今んところそこを関西電力EALFで説明できるんだってずっと言ってるんで、許可のときから言ってますんで、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:43:21 | それだったら、EFで説明する何かしらの判断材料がゼロから 200mm のところにあるんでしょって話をずっと言ってるわけです。 |
| 0:43:35 | さっきの資料 2-1 のさっきの感度解析の話も、特異な傾向っていう話じゃなくってあくまでも、 |
| 0:43:43 | そういう意味合いでやって、そこはないってことが確認できたからこそ、基本ケースで、 |
| 0:43:49 | 臨界判定をすればいいんだと、そういう話になるっていうことだと我々思っているんで、 |
| 0:43:55 | ちょっとその全体像を踏まえた上で、本当に今の説明を続けるのかどうか。 |
| 0:44:01 | ちょっと考えた方がいいと思うんですけど。 |
| 0:44:06 | はい。関西電力の福原です。ちょっと今日の資料ヒアリング臨むにあたっては我々としては考えをちょっと今日の資料にはまとめてきているんですけども、 |
| 0:44:18 | 我々としてやっぱり基本ケースがあって、さらに感度解析係数も含めた形で実効増倍率が判定基準を満足していると。 |
| 0:44:30 | というようなことをお示し、 |
| 0:44:34 | すべきであろうという考えでおったんですけども、そこはやはり許可の議論をもう一度踏まえまして、あくまで感度解析ケースっていうのは、その基本ケースと、 |
| 0:44:46 | 違ったトレンドにならない、要は水水位低下とともに単調減少にならないよねということを確認するための感度解析であって、 |
| 0:44:59 | まずそれさえ確認できれば、あとは基本係数に対してしかるべき不確定性を積んだもので、判定すればいいんだと。 |
| 0:45:12 | いうふうに私は理解しましたが、それやってますでしょうか。 |
| 0:45:19 | 規制庁そうです私たちはそれでいいと思っているんですけど、関西電力はどう考えるかってことです。 |
| 0:45:27 | 関西電力の |
| 0:45:28 | 後は関西電力がどう説明するかということだというふうに理解いたしました。 |
| 0:45:45 | 規制庁宗です。では |
| 0:45:47 | 別の確認に移りたいと思い |
| 0:45:57 | SCALEコードの不確定性の |
| 0:46:03 | 話なんですけれども、 |
| 0:46:13 | 資料 2-2 の、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:46:21 | 2 ページで、 |
| 0:46:36 | 最最後の、 |
| 0:46:39 | 違うな。 |
| 0:46:48 | 最後の段落ですね。 |
| 0:46:51 | 低水位時相当のAAFの結果を、 |
| 0:46:57 | 計算コードの河川サービスに加えた場合においてもって下から 4 行目の、 |
| 0:47:03 | ところなんですけどこれって何言ってるかっていうと、わかりやすくすす なんか整理されてるのが、 |
| 0:47:11 | 資料 1 の、 |
| 0:47:15 | 右肩 10、 |
| 0:47:17 | ページの、 |
| 0:47:24 | この表を、 |
| 0:47:26 | のことを言われていると思ってて、 |
| 0:47:29 | 結局、 |
| 0:47:31 | 出るた形、イプシロンC、 |
| 0:47:35 | ていうのが、 |
| 0:47:38 | いろいろ加えていくと。 |
| 0:47:40 | 変わらないからだんだん小さくなってきますよって話を一生懸命説明し てて、 |
| 0:47:46 | ここの資料 2-2 の、 |
| 0:47:51 | 2 ページの説明の仕方からすると、 |
| 0:47:55 | いろいろやってみて、結局は、 |
| 0:48:01 | 定数時のEALF |
| 0:48:04 | 相当の |
| 0:48:07 | 国際ベンチマークは入れない方が、 Δk とかプロシップ理論Cが、 |
| 0:48:14 | 大きめに評価されるという、 |
| 0:48:16 | ことを理由に、 |
| 0:48:19 | それだけを選んで、 |
| 0:48:21 | それを |
| 0:48:24 | 資料に、 |
| 0:48:26 | の 2 でいうと、第 |
| 0:48:30 | 第 2 表の、 |
| 0:48:33 | ベンチマークは入れないんだと。 |
| 0:48:36 | いうふうに説明してるように聞こえるんですけど。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:48:40 | それって結果論なんですかね。 |
| 0:48:44 | ちょっとそこがよくわかんなくて、 |
| 0:48:46 | 結果論で決めたのか、それともやっぱり、 |
| 0:48:51 | 水ゼロ。 |
| 0:48:52 | から 1000mmの、 |
| 0:48:54 | 間のところは、ちょっと |
| 0:48:56 | 考慮しないことにして、 |
| 0:48:59 | ノミナル、基本ケースの実効増倍率はその落ちない。 |
| 0:49:03 | 冠水から整備ぐらいの、 |
| 0:49:05 | 範囲内だけで、 |
| 0:49:07 | 議論しようとしているのか、ちょっとそこがよくわからなくて、 |
| 0:49:12 | 結局、 |
| 0:49:15 | まず、 |
| 0:49:17 | 水の |
| 0:49:21 | 冠水から 1000mmぐらいまでの、 |
| 0:49:24 | あたりのお話でまず解析コードの不確定性の話を、 |
| 0:49:28 | 議論しとけばいいというふうに言っているのか、それともそうじゃなくって、いや全体ん見るんだけど、何か入れてけば入れていくほど、 |
| 0:49:37 | 出るだけ後Cがちっちゃくなってくるんで、 |
| 0:49:40 | 結果論として、 |
| 0:49:42 | 低い水位を、に相当するような、資料 2 の第 2 表のようなケースは入れなかったんですって言うてるのかどっちなのかちょっとよくわからないんですよね。 |
| 0:49:51 | まずそれど、どちらなんですかね。 |
| 0:49:59 | あと、関西電力の平野でございます。 |
| 0:50:01 | 藤。 |
| 0:50:03 | 我々といたしましてはと入れていけば入れていくほど、不確定性というものは小さくなってしまふということがありましたので、まずはそのある程度大まかな区切り、 |
| 0:50:13 | チャンクを作りまして、まずは解析コードをも、 |
| 0:50:17 | の計算コードの不確定性をまず評価しますと。 |
| 0:50:21 | その時に、衛藤白幡屋が当たりました。牧公認の時から使用しております燃料様子というものでございますと、 |
| 0:50:28 | なので等でこれに対して、さらに |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:50:34 | て水にも適応可能なように、解析コードのベンチマーク結果に足す必要があるのではないかなというようにもございますのでええと、待たす硬さないかというものが多いと。 |
| 0:50:47 | 置いときましてつけて計算した場合においても変わらないということが確認できましたので今回は達していないと。 |
| 0:50:54 | いったような形でございます。 |
| 0:50:59 | 関西電力の福原です。 |
| 0:51:03 | まず、 |
| 0:51:05 | 資料1の右肩10ページの表なんですけども、 |
| 0:51:12 | これが横軸にいろんなベンチマークの係数ですかね。並べて4D、 |
| 0:51:23 | それに対してベンチマーク数であったり Δk 、さらに信頼係数と言ってよろしいですねを出してるんですけども、 |
| 0:51:35 | まず先ほど鷺見さんが、この資料の前に |
| 0:51:42 | 指摘された、この資料2-2。 |
| 0:51:47 | の2ページ。 |
| 0:51:49 | A-A下から5行目ぐらいのところのこの定数E相当のEALF計算コードの不確定性算出に加えた場合でも云々という、ここで関西電力が何をしゃべりたいんだと。 |
| 0:52:01 | いうところはですね、概ね杉さんのご理解の通り、いいです。まず先ほどのパワーポイントの表の方をご覧くださいますと、 |
| 0:52:14 | ベンチマークケース数というところが、それぞれいろんなベンチマーク大きい数字小さい数字ありますけども、それに連動してですね。 |
| 0:52:24 | この表の下から2行目の信頼係数を言うっていうものが、ここは完全にケース数が少なければ、 |
| 0:52:34 | 信頼係数Uが大きくなるという傾向を示しております。従いまして、このUが大きくなるということはその移行への不確かさ、 εC も、 |
| 0:52:49 | このUがかかっていますので大きくなっていくというところでございます。 |
| 0:52:55 | そうした時に我々としては、より判定を厳しい目に行うという観点から、なるべくこの信頼ケースを言うっていうのを、 |
| 0:53:08 | 大きくしてやろうと、やましい適度が意図的にですね、しようとしているところがありまして、それをするために、あえて |
| 0:53:20 | このベンチマーク数を絞り込むと、わざと少ないケース数、 |
| 0:53:27 | のベンチマーク数でもって、この信頼不確定性を算出してやろうと、いうことを、既許可のときからもそうしてきてますし、今回の許可をにあたってそこら辺の考えっていうのは、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:53:42 | 変えていません。そういったところは先ほどのワードの方の資料を述べているのが概ねそういう説明でございます。 |
| 0:53:51 | 規制庁鈴木です結果論が悪いと思うなとも言わなくて、言っても、言わなくて、 |
| 0:53:58 | 別にいいですよ。ただ、資料 2-2 でいうと、 |
| 0:54:05 | 17 ページに、 |
| 0:54:09 | 第 5 表今回の申請書の |
| 0:54:14 | 抜粋を出されていますけど、 |
| 0:54:16 | ここの注 1。 |
| 0:54:19 | 中にも同じですけど注 1 のところでウラン燃料に関わる臨界式の対象に、 |
| 0:54:24 | ベンチマーク解析を実施していられた加重平均事故動物の平均誤差ですみたいな言い方してこれの意味合い終わってた時にいや今回新燃料敷き詰めなんで、 |
| 0:54:33 | ウランだけにしましたって当初説明があったんですね。 |
| 0:54:36 | だからこそずっとこの話をしてて、 |
| 0:54:39 | なぜ、じゃあ、その |
| 0:54:43 | 水位が下がってきたとき、所のような、 |
| 0:54:46 | EALFに、 |
| 0:54:47 | のような範囲のそのところまで、 |
| 0:54:50 | ベンチマーク取り込まないですかって話になってて、いやそれは、 |
| 0:54:55 | 浦以外のプルト間入ってるケースなんで、選びませんでしたっていう話もしてたわけですよ。 |
| 0:55:02 | でもやっぱり、あくまでもこの今の、 |
| 0:55:06 | 申請書の抜粋のところの注意書きは結果論としてウランだけになりましたってことを言ってるだけであって、 |
| 0:55:14 | いろんなベンチマークのケース入れて、評価してみたら、 |
| 0:55:20 | プランだけっていうケースがそれなりに合理的な範囲で、 |
| 0:55:26 | 厳しさもあるような△系なりイプシロンCになったんで、それになりました。 |
| 0:55:32 | 条件止まってますよねみたいな、その程度の話なんじゃないのかなって今、 |
| 0:55:37 | 聞いててやっぱり思うわけですよ。だから、そう、そうであればそうだって言えばそれでいいだけで、 |
| 0:55:42 | だけど、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:55:46 | 資料 1 の 12 ページですね。 |
| 0:55:53 | 白地。 |
| 0:55:54 | 1-12 ページの右下の表で、計算コードの不確定性は、 |
| 0:55:58 | 0mmのところまで同じものですよって言うわけですよこれ。 |
| 0:56:02 | 枠としては、 |
| 0:56:04 | その意味合いは、いや確かに結果的には、 |
| 0:56:07 | 0mmとかね、200 ミリとかみたいな、EALFの、 |
| 0:56:11 | ベンチマークは入れてないけど、 |
| 0:56:13 | 入れてないけどその辺まで考慮し、していろいろ計算してみ、見てみた結果結果として、 |
| 0:56:20 | ウランだけの話になったんで、0mmだってそれ使ったっていいじゃないですか。 |
| 0:56:25 | ていう、10 ページで言うわけですよ。 |
| 0:56:28 | だからそう言えばいいだけの話で、 |
| 0:56:31 | 説明がだから今まで何かこう、やっぱ一貫してないんですよ。 |
| 0:56:39 | そういうふうに割り切りましたってだけだと。 |
| 0:56:42 | いうことであればそうです。だからこそ、 |
| 0:56:44 | 対 0 だと同じものを使っちゃっていいんです。 |
| 0:56:47 | それが 10 ページの説明ですよ。 |
| 0:56:49 | いうんだったらそれでいいと思うんですけど。 |
| 0:56:53 | そうそうであればそういうふうに、 |
| 0:56:55 | シンプルに説明して欲しいんですけど。 |
| 0:57:36 | はい。関西電力の福原です。せつかくですのでこの部分をもう少し議論を深めたいなって思うのが、先ほどやっぱりこの信頼係数、 |
| 0:57:47 | に応じてプッシュの紙がどうなるか、ベンチマーク係数に対してこの信頼係数がどうなるかっていうのは一目瞭然なんですけども、 |
| 0:57:57 | その一方で、もう一つの要素である、その数以外のそもそもベンチマーク自体が、よく合ってるその臨界実験だったのかどうなのかって、 |
| 0:58:10 | いう要素がやはり入ってきてですね、多分そこが、今鈴木さんからもともとご指摘のあったこの低水位の部分のベンチマークを、 |
| 0:58:23 | 計算コードの不確定性の算出に加えるのか加えないのかっていうところをだと思っんですけど。で、今、今日の 10 ページで我々このお示したのは、 |
| 0:58:38 | 軽水の部分のベンチマークを加えることによって、当然ベンチマークの係数はその分増えます。それに伴って信頼係数は下がります。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:58:49 | D値トータルどうなんだっていうところで不確かさイプシロンCは小数第4位のレベルで変わってきませんでしたと。 |
| 0:59:00 | というのが今日のこれ資料なんですけども、それが単に結果論。 |
| 0:59:07 | そう。 |
| 0:59:09 | だったのか、ごめんなさい。 |
| 0:59:13 | だから、ここの結果をとらまえて、 |
| 0:59:19 | そうですね結果的にそうですね結果的に |
| 0:59:23 | 変わらなかったの |
| 0:59:27 | 元のままのこれ採用係数という点で困ってますけどもこちらを使うことで問題ない。 |
| 0:59:35 | と思ってますと。 |
| 0:59:37 | というのが、 |
| 0:59:38 | すいませんは今日の説明なんです。 |
| 0:59:44 | 規制庁数です今日の資料読んでるとそうだろうなっていうことだったので、これまで、なぜ、 |
| 0:59:50 | TSEのいえる相当のベンチマーク、要するに資料に行ったら第2号のやつ、入れるのか入れないですかって素行について今まではずっと、 |
| 1:00:00 | それはプルトニウムが入ってるから、入れないんです今回の新燃料敷き詰めはウランだけなんで入れないんですみたいな説明が今までありましたけど、そこは、 |
| 1:00:10 | そう、そういう言い方じゃなくて、単純に資料1の10ページみたいな、いろんな検討してみて、 |
| 1:00:17 | 結果として最終的にはウランだけの話になってます。 |
| 1:00:22 | 手だけですよね。 |
| 1:00:24 | だったらそう説明すればいいし、 |
| 1:00:26 | 資料の2-2の17ページも別に、 |
| 1:00:31 | 何も間違ったこと言ってなくて、裏の臨界実験対象にやりましたってこれどういう意味でやっていいですかって聞かれたら資料1の10ページみたいなことを検討して、 |
| 1:00:41 | 結果的にこうなったんです。 |
| 1:00:43 | 評価条件と一致させてるとか何かそういう話じゃないですって言えばそれでいいだけの様な気がするんですけど。 |
| 1:00:49 | それでよければそう説明された方が我々は、 |
| 1:00:53 | 何かストーンとくるんですけど、 |
| 1:01:04 | そさらに言うと、さらに言うとね、さっき言った、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:01:09 | SCALEコードの適用妥当性の話だって、いろんな |
| 1:01:13 | 今回ウランだけなんだけどそれにこだわらずに、いろんなベンチマーク選んできて、 |
| 1:01:19 | CI評価して、いろんなところ、結構幅広に使えるっていうことを確認してるんですってずっと言ってるわけですよ。 |
| 1:01:26 | だったら別にその不確定性だってね、幅広に見みたときに、結果的にちょっと楽になっちゃったんで、楽にならないように、 |
| 1:01:34 | Uだけのやつで評価してきましたっていうだけで全然話は、 |
| 1:01:39 | 通るんだと思ってるんですけど。 |
| 1:01:44 | 何か一生懸命使い分ける理由を、何かこう、 |
| 1:01:49 | ウランだけとか、プルトニウム入ってるからとかって何か言わなくてもいいような気もした、してきちゃうんですよ。 |
| 1:01:58 | いやその辺は関西電力としてのね、何かしらのね。 |
| 1:02:01 | こだわりとか何とかあるんだったら、こだわってるどころ含めて、す、説明したときに、 |
| 1:02:08 | すつとこう、 |
| 1:02:10 | あそうですかっていうふうに理解できるように説明されればいだけだと思っすけど。 |
| 1:02:14 | 関西電力の福原です。我々がこの不確定性を求める上でのベンチマーク係数の選定にあたっての考え方っていうのは、先ほどちょっと私が冒頭申しましたように、やはり |
| 1:02:30 | 不確定性を少し過大に評価する。 |
| 1:02:35 | 意図的に過大に不確定性を評価しようとするところがあるんですけど、その上でとはいえやはりそのお門違い、そうしようと思つとやっぱり、 |
| 1:02:46 | ベンチマークのケースをなるべく絞る減らすっていうことになるんですけども、ただ、やはり、どの燃料に着目したベンチマークだったのかっていうところをやはり外すわけにはいかないだろうと。 |
| 1:02:57 | いうところで、今回のそのターゲットとしている評価のを、を用いて、評価の燃料と、類似の燃料を使ったベンチマーク。 |
| 1:03:09 | であるということを条件に、なるべくケース数を絞り込む形で選定していますっていうのが基本的なポリシーになりますんで、その結果が今回のこれですという説明になるのかなと思います。 |
| 1:03:23 | 規制庁スズキだからその最後のね、今回の解析条件が裏燃料敷き詰めでプルトニウム入ってないから、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:03:30 | そういう条件も加味した上でっていうのが、例えばよく事業者いうフローチャート作ってね。 |
| 1:03:36 | 選別してきました時に先にそれが出てきちゃうと、 |
| 1:03:39 | 結局、プレゼンが入ったて水のEALF相当の、 |
| 1:03:44 | ベンチマークケースって入ってこない。 |
| 1:03:48 | 3章は幅広に見てて、 |
| 1:03:51 | いろいろ評価してみて、資料1の10ページみたいに評価してみて結果的に、 |
| 1:03:57 | 赤枠で囲んでる採用ケースんところが、厳しかったんで選んできました。 |
| 1:04:03 | でもそれは幅広に見てるんで、水ゼロのそこだって使えるんですっていう。 |
| 1:04:08 | 何か説明の方がすごいわかりやすい気がして、 |
| 1:04:12 | そこになぜUー |
| 1:04:14 | 敷き詰めの話だから、裏に行って、そこまで考慮してやるんですって話が入ってきちゃうのかがちょっとよくわからない。いえ別にそここだわってもいいですよ。こだわってもいいけど、 |
| 1:04:24 | こだわることによって、じゃあ結局定数のところはどうなんですかって話にまた元戻っちゃうんですよ。 |
| 1:04:34 | とそれだけなんですけど、関西電力の |
| 1:04:38 | 真野スズキさんの、 |
| 1:04:40 | 御説明わかりやすいものであるなと思ってまして |
| 1:04:44 | 今回アノて水槽とのEALFというものを、後から追加したものなので、ちょっと特異な、 |
| 1:04:51 | ベンチマークなのかなっていうところに、 |
| 1:04:55 | 何て言うかね、最初に、じゃあどの、どういったケースを採用しようかといったタイミングで我々がじゃあこれとこれとこれを使いましょうかと。 |
| 1:05:04 | たいような、選別をするタイミングで、 |
| 1:05:07 | ある程度の、 |
| 1:05:09 | くくりに分ける必要があるんですね。 |
| 1:05:11 | なので、仮にこのて水槽とのEALFというものが最初から、 |
| 1:05:17 | 溶け込みになっていた場合ですと、これ、 |
| 1:05:20 | 奥田として燃料要素に着目して、ベンチマーク対象というものを四つのうちの三つの |
| 1:05:26 | 括りに分けてましたので、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:05:29 | これ最初から入っているとMOX燃料のケースに差し込まれてしまうようなケースになるんですね。 |
| 1:05:34 | なんで僕らとしては当初はその、 |
| 1:05:36 | EALFというものに着目して、 |
| 1:05:39 | 選定ケースを選択してなかったんですけども、 |
| 1:05:42 | 今回後から追加されたものなので、新たに評価させていた |
| 1:05:47 | 言った話次第でございます。 |
| 1:05:55 | 結局だからさ、最後ね。 |
| 1:05:58 | 風呂敷広げて、 |
| 1:06:01 | 結果的にこうでしたって言えばいいだけだけして、 |
| 1:06:05 | 何かその経緯だとかね、最初にグルーピングした方がわかりやすいからそこをこだわりますって、 |
| 1:06:13 | いう質問じゃなくて別にグルーピングして、風呂敷広げやいいだけで、 |
| 1:06:17 | カードをねバーツてばらまくよりか。 |
| 1:06:20 | いや、ダイヤとスペードとクラブ等ってこう分けたほうがわかりやすいから分けて、 |
| 1:06:26 | 標識広げましたっていうだけのような、 |
| 1:06:28 | 話だと大井を持ってて、 |
| 1:06:31 | なかなかあまりこだわる必要ないのかなって思ったんですけど。 |
| 1:06:35 | ちょっとその辺はもう少し、もう1回、資料のつくりとして、 |
| 1:06:40 | 今日の議論を踏まえて、 |
| 1:06:43 | 関西電力が最終的にはどうしたかったと思ってたのか。 |
| 1:06:49 | その辺をまとめていただいた方がいい。 |
| 1:06:52 | わかりやすくなるんじゃないかなっていうふうに思いますので、もう一度考えられたらいかがでしょうかね。 |
| 1:07:10 | 関西電力の富樫でございます。 |
| 1:07:12 | すいません今おっしゃっていただいたところをちょっと解釈いたしますと、 |
| 1:07:18 | この%ホシノ10ページ目ですね |
| 1:07:22 | こちらの |
| 1:07:24 | 当初より |
| 1:07:26 | この二つは参事としては当初より、これらの各項目について確認してみましたけど、先ほどおっしゃっていただいたそれが幅広に、 |
| 1:07:37 | 見ましたということなのかなと思ったんですけど。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:07:40 | これ、実際やってみて、やってみましたとそのあとに、今回はその燃料要素に注目してといいますか、 |
| 1:07:50 | このウラン燃料を選ぶことにいたしましたと。 |
| 1:07:54 | 一方でこの低推移。 |
| 1:07:58 | 含めたやつとを比べるとどうなるかという、そこは、ウラン燃料の方が、 |
| 1:08:05 | 大きな発売になりますね。 |
| 1:08:08 | なので今回は、ウラン燃料を選びましたと。 |
| 1:08:12 | そういう説明の流れになるのかなと思ったんですけども。 |
| 1:08:17 | いかがでしょうか。 |
| 1:08:19 | 規制庁宗です。いやそれでね、そういう説明をされるんであったとしたら、 |
| 1:08:24 | この資料1の10ページ、タラレバで申し上げないんですけど、 |
| 1:08:29 | 左から二つ目のね、ウラン燃料FPなしプラス定数※1の方が信頼係数が若干高かったとしたら、 |
| 1:08:39 | 今の説明通らないですよ。 |
| 1:08:43 | 関西電力富樫でございます。今回のケースでいけば、その広げた後に、その燃料要素に着目するということで、このFPあるということはないので、新燃料を引き継ぐということで、一番、 |
| 1:08:57 | 左のケースになるのかなと考えてございます。 |
| 1:09:00 | 規制庁スギタでそこはたまたま会ってただけなんでしょっていうだけなんですけど。 |
| 1:09:08 | また、たまたまそうだった結果的にそうでしたってそれだけの気がするんですけど、 |
| 1:09:22 | ちょっと考え、考えてください。 |
| 1:09:41 | 鳥取、とりあえず桃井、もう1回考えてこられるところでよろしいですか関西電力。 |
| 1:09:48 | 別々に材料はそろってると思っているので、紙資料のまとめ方だけでこれまでの聞いた内容と若干今日の話は、 |
| 1:09:58 | 違ってるように聞こえるし、 |
| 1:10:00 | かつ、何か割り切った感じで書かれていないので、 |
| 1:10:04 | 最終的に本当はどういうふうに、 |
| 1:10:07 | したんですかっていうところをしっかりとめていただきたいというのが我々の趣旨なんですけど。 |
| 1:10:18 | はい。関西電力の福原です。ちょっと件悩ましいのが、今回、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:10:27 | 回り切って書くことは可能なんですけども、今まで関西電力が許可で説明してきたことであつたりとか、 |
| 1:10:39 | さらにもっと前の既許可既工認、 |
| 1:10:42 | 説明していることとの整合というところまで、少し考えますとですね、非常に答え悩ましいなど。 |
| 1:10:53 | いうところを今私、主に暮らしているところです。 |
| 1:10:59 | 規制庁杉ですそこまで考慮した。 |
| 1:11:02 | とても美しいストーリーを作りたいと思ってるんだったら作ってください。 |
| 1:11:08 | 我々は別に、 |
| 1:11:10 | それをつくるなとも言いませんし、 |
| 1:11:12 | 我々審査してて、 |
| 1:11:16 | 技術的に何もおかしくなければいいと思つてて考え方だつて今回ね、いろんなところで幅広にやろうとしてるわけですよ。 |
| 1:11:26 | 既許可、既認可の |
| 1:11:29 | 許可つて言い方は新規制のときの許可、或いは既認可のやり方っていうのは、その通りそれが最良だろうと思つて、 |
| 1:11:37 | やつててその当時も技術的にちゃんと等通る説明を、 |
| 1:11:42 | されてたと思つてるんですけども、そこからさらに幅比を広げてより緻密な評価をやろうとしたときに、 |
| 1:11:49 | 若干やっぱりそれまで考え方変えて、もう少し柔軟にね、 |
| 1:11:55 | やった方が、いろんなことができるし、いろんなことに対応できるし、 |
| 1:12:01 | 頑張つてやりすぎなくてもいいところはもう切り捨てるっていうふうを考えますつて言つたつて全然別に私はそれおかしくないと思つていて、 |
| 1:12:10 | でもやっぱり昔言つたことも全部ひっくるめて、 |
| 1:12:14 | 同じ説明をしたいんですつていうんだつたらそれは説明し、堂々と別に結構ですけど、ただ、そういうふうの説明されるんだつたら今回の話もきっちり説明してください。 |
| 1:12:25 | はい。関西電力の福原です。テーマ、 이슈を、今回の設工認の申請内容を、 |
| 1:12:34 | に、絞つてつていいですか、の中で理屈が通るつていうか、ロジックが立つ。 |
| 1:12:42 | 説明をさせていただきたいと思つます。 |
| 1:12:49 | 減少規制庁スズキそれでは続けて、 |
| 1:12:52 | 製作公差の不確定性の方に行きますけれども、資料 2-2 の、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:12:59 | 2 ページの下側から製作公差による不確定性の話ですけど、資料 2-2 の 3 ページの、 |
| 1:13:11 | 再、5 ポツまとめの上の段落のところともう 1 個上までの段落の話で、 |
| 1:13:19 | 話が違って、これ端的に言うと、 |
| 1:13:25 | 資料 1 の 12 ページの右下の表。 |
| 1:13:33 | 冠水時の不確定性と水位 1000mm の不確定性この話は、同じ土壌で議論しますと言って、 |
| 1:13:42 | 水位ゼロの話はちょっと別の話として議論しますっていうふうに書いてあると理解し、しています。 |
| 1:13:48 | で、 |
| 1:13:51 | その話を、 |
| 1:13:53 | 分けるってことはやっぱり完遂から推薦ミリぐらいまでの話るところでまず一つ。 |
| 1:14:01 | 議論しといて、 |
| 1:14:03 | その代表性みたいな話をして、じゃあ水ゼロの話っていうのは、 |
| 1:14:09 | 製作公差等による不確定性の話は、 |
| 1:14:17 | やってみた結果です。 |
| 1:14:20 | ということであれば、まあそうだって説明された方がわかりやすいなって気がしていて、 |
| 1:14:26 | 今回の資料 2-2 は、端的に言うともうそういうふうに書いてあるのかなっていうふうに読んだんですけど、そういう意味でよろしいですか。であれば先ほどからずっと言ってるような、 |
| 1:14:38 | 解析コードの不確定性の話とかも含めて |
| 1:14:43 | あるところで割り切って、 |
| 1:14:45 | 評価し、もう何か説明し、できないところも家や計算してみて、 |
| 1:14:50 | 結果論でそうしましたっていう話で、何かすごいわかりやすくなると思うんですけど。 |
| 1:14:57 | そういうことでよろと理解してよろしいですか。 |
| 1:15:03 | はい。関西電力の北野でございます。その通りでございます、横ばいになってる部分っていうのはイズミット冠水状態の部分の代表させることが妥当であろうから、 |
| 1:15:13 | 不確定性を、 |
| 1:15:15 | 分水でも、とる必要ないだろうというふうに評価しておりますし、それ以外の部分っていうのは |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:15:21 | 実効増倍率が、大きく下がっているので不確定性をあえて評価する必要はないだろうと。 |
| 1:15:26 | いうことをご説明して、させていただいた次第でございますはい、おっしゃる通りでございます。 |
| 1:15:31 | 規制庁数ですね、そのね資料 2 の 3 ページの、 |
| 1:15:37 | 5 ポツまとめの 1 個上のまた書きのところですね、この、 |
| 1:15:41 | 実効増倍率が 0.9 以下と十分に小さいとか何とかってところがね、やっぱり |
| 1:15:48 | 説明がやっぱ不足してさっき言った単調減少するんだってという傾向が、 |
| 1:15:55 | 不確かさ評価なんかも含めて、ちゃんと傾向が見れているんだと、そういった時にはここまで落ちていればって話だと思っていて、 |
| 1:16:04 | 十分に小さいってというのが単純に、 |
| 1:16:07 | 実効増倍増、0.1 も下がってたらみたいな、それどういう意味かなってちょっとやっぱ思っちゃうわけですよ。 |
| 1:16:15 | 単純に数字が大きい小さいとかじゃなくて、単調減少する中でここまで落ちてきていればって話も含めて説明しないと、ちょっと通り通らないかなって感じがしているので、ちょっと少しその辺は、 |
| 1:16:29 | 補強された方がいいかなと思うんですけど。はい、ありがとうございます。関西電力のヒダカ |
| 1:16:34 | とおっしゃる通りかと思ひまして我々冠水状態がグーッと下がっていくような図をイメージして |
| 1:16:40 | お答えさせていただいたので単調減少してますのでというような、 |
| 1:16:44 | 記載ですかね。抜けておりましたけども |
| 1:16:47 | そういった内容も補記させていた。 |
| 1:16:51 | はい、規制庁数ですそれで先ほどの資料 1 の 12 ページの、 |
| 1:16:57 | 右下の表で、最終的に深く、 |
| 1:17:02 | 製作公差に基づく不確定性の欄の、 |
| 1:17:06 | 結論のところ、漢数字の話と水仙みの話ここんところが、 |
| 1:17:13 | モンテカルロのワンシグマの 2 倍程度の範囲でしばらくぐらいでそれは結局、 |
| 1:17:21 | 違いがない。 |
| 1:17:24 | ものである。だからとりあえず完成時の、 |
| 1:17:27 | 事故側で一番高いところの冠水品ところそろえて、それ選んできて、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:17:32 | 進んで、0.98 より低いんだって話にしましたと、そういう話だっていうことでまとめられて、この赤枠の |
| 1:17:42 | 取る幅範囲をね、変えられたというふうに、 |
| 1:17:45 | したのでそれでよろしいですね。 |
| 1:17:49 | 関西電力の平野でございますはい。おっしゃる通りでございます |
| 1:17:53 | 規制庁鈴木です。わかりました。ちょっと |
| 1:17:57 | 今日全体通して、 |
| 1:17:59 | いや、やっぱり |
| 1:18:01 | 歯抜けなのか歯抜けじゃなくて何か割り切りみたいな感じで、結果論としてやったのかみたいな話、実際計算してみても結果的にそうでしたみたいなね。 |
| 1:18:11 | そういう話でや、やったんですみたいな話になるのであればそれで全体的に同じような説明の頭になるかと。 |
| 1:18:19 | 思いますけれどもちょっとそこもつかいまとめ直していただいて、もう一度確認をさせていただければなというふうに、 |
| 1:18:27 | 思いますんで解析のところは大体、こちらから聞きたいところは、以上ですけど他に大丈夫ですか、規制庁側。はい。 |
| 1:18:36 | 関西電力の福原です。今日のご説明は我々としてはいろんなケースの選定であったりする上で、まず |
| 1:18:46 | 考え方があってそれをお示して、ほんでちなみに、それをちょっと揺さぶるようなことを試しにやってみただけでも、結果こうでしたよっていうようなことを補強材料として、 |
| 1:19:00 | お示しする形だったんですけども、そもそも、その最初関連が言ってるその理屈の部分が、あまり理屈になってないよねって。 |
| 1:19:12 | いうふうに私ちょっと今日は感じましたそれであれば、もういろいろやってみて一番悪いとこ取ってきましたよということでもいいんじゃないのと、そういう説明シンプルにもそうそういう説明に、 |
| 1:19:26 | したらっていうふうにちょっと私感じたんですけども、その理解で合ってますでしょうか。市長スズキです。イメージ的にはそんな感じですか。はい。 |
| 1:19:38 | 関西電力もよろしければ、第一部の解析関連のところは、ここまでにして次は申請書のほうに移りたいと思いますよ。よろしいですか。 |
| 1:19:47 | ここでヤマモト退席して、はい。 |
| 1:20:04 | では、続けて、資料 2-1。 |
| 1:20:09 | の申請書の記載ですけど、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:20:14 | まずさっき先に、 |
| 1:20:16 | ちょっと、 |
| 1:20:17 | 期待はずれたとか、 |
| 1:20:19 | 前回審査会合で、手続き関連で拡充するといったところの記載の、 |
| 1:20:25 | メーターが今日入っていないのかなあと思ったんですけど、は、 |
| 1:20:30 | まずそれ入ってますかね。 |
| 1:20:38 | はい。すみません。関西電力の福原です。ちょっと冒頭説明が、 |
| 1:20:44 | 何か、 |
| 1:20:45 | ウダですけどもまず、今日お出ししてます資料で今鈴木さんが言われたその手続き関係、 |
| 1:20:52 | 申します。言われたところについて少し触れますと箇所としましては |
| 1:21:00 | 資料番号の 2、 |
| 1:21:02 | 甲斐の 2 っていうやつ、5 ページ目。 |
| 1:21:08 | 1.6、制御棒クラスターの記載に係る申請書への反映についてと題した部分があります。ここについては、 |
| 1:21:19 | 要は近隣カーの制御棒クラスターの範囲がどこまでだったのかと、いうようなところで今回の工事、設工認で、 |
| 1:21:32 | 結局そのどうどうどうしたいのかといった部分の扱いを明確化させるべく、説明したものになりまして、 |
| 1:21:43 | そのその変更内容というのが、それをすぐめくっていただいた後のこの別紙 1 であってその次の別紙 2 といった形で補正申請案と、 |
| 1:21:55 | いうのをお付けしていますというのがまず一つと、あとそれ以外の部分のその補正関係につきましては、ちょっと資料変わりました、 |
| 1:22:06 | 右、資料番号資料 2-1。 |
| 1:22:09 | というものをカイン 4、リビジョン番号 4 ですけども、こちらが申請書記載内容に関する補足説明というものになりまして、 |
| 1:22:19 | 1 枚めくっていただいて目次のところになります。こちらの資料の作り言い方としては、従来ご説明してきているものに対して追加したものの赤字になってますけども、 |
| 1:22:32 | 基本この目次の(1)から(11)というテーマというか仮称につきまして、もともとの昨年 12 月に申請したときは、 |
| 1:22:43 | このこういう考え方がそれを栄光で示した各項目にそのAポツという形で申請時の考え方と題して書いて、さらにそれに続きまして、bポツ、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:22:54 | 記載適正化に向けての考え方ということで具体的にはこういう補正を考えていますといった内容をまとめてきているのがこちらの資料になります。鈴木さんおっしゃられた |
| 1:23:06 | ちょっと今日ないよねって言ったものとしては、我々としてはこれがそれにミイとしてる資料なのかなというつもりで今日はご用意してきております。成長スズキです |
| 1:23:17 | 資料2の方に入ってるのは、気がつかなかったので、 |
| 1:23:22 | そう。そこから進まず、一通り説明していただいていいですか。はい。 |
| 1:23:29 | 関西電力のフクハラでちょっと資料2-1に全部まとめればよかったんですけども少し一番制御棒クラスタの扱いについてだけちょっとそこからくり抜いてですね、 |
| 1:23:42 | こちらに移植しましたので申し訳ないですねその部分についてはイトウオオハシの方から説明させます。 |
| 1:23:52 | 関西電力の鳥羽氏でございます。 |
| 1:23:54 | 衛藤。具体的には今ありました通り、5ページ目に、申請書の反映箇所ということで、(1)と(2)で書いてまして具体的な |
| 1:24:06 | 記載の案ですね。 |
| 1:24:08 | まず別紙1としまして6ページ目になりますけれども、 |
| 1:24:13 | この部分で前回もご提示させていただいたところから、 |
| 1:24:21 | 制御棒と制御棒クラスタという言葉の混在というところをご指摘いただいておりますので、そこはこの中では、制御棒クラスタと、 |
| 1:24:30 | いう文言で統一するというような形に記載を見直させていただくと。 |
| 1:24:36 | とともに、また以降のところ、今回、その機能に廃止するもの。 |
| 1:24:43 | について、改めて制御棒クラスタで |
| 1:24:48 | 括弧で兼用しているものとしていないのと、 |
| 1:24:52 | それから |
| 1:24:54 | 中性子吸収傍証体と。 |
| 1:24:56 | いうところを、また以降で明確に記載することとしております。 |
| 1:25:05 | まず、衛藤。 |
| 1:25:06 | 失礼しましたここは基本設計方針の柱書と呼ばれているところになりますけれどもその記載の修正案につきましては、そういったことを考えて、 |
| 1:25:19 | 江藤さらに別紙2につきましてはこれこちら工事工程表になりますけれども、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:25:26 | そちらの基本設計方針の柱書きの方で制御棒クラスタという文言で統一しておりますので、こちらもそれに合わせて制御棒クラスタというものの。 |
| 1:25:36 | 文言で統一するような形で別紙 2 をお付けさせていただいていると。 |
| 1:25:41 | いうところでございます。 |
| 1:25:47 | 御説明時については以上になり |
| 1:25:53 | 規制庁数ですちょっとここまでで、 |
| 1:25:57 | 先に確認をしていきたいんですけど、資料 2 の、 |
| 1:26:03 | 6 ページの 6、基本設計方針適用基準及び適用規格の |
| 1:26:10 | 柱書のところで、制御棒クラスタに統一しましたって言うんですけど。 |
| 1:26:17 | まずここ基本設計方針の柱書きじゃなくて、 |
| 1:26:22 | 実用炉規則の別表第 2 で言っているところの 6 の、 |
| 1:26:27 | 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設の基本設計方針適用基準及び適用規格という。 |
| 1:26:35 | そのタイトルのところの柱書きになりますので、 |
| 1:26:40 | 基本設計方針の説明をしているわけではないと理解しています。で、 |
| 1:26:45 | そういう観点で、継続性を形、 |
| 1:26:49 | 制御系統施設側の方の、 |
| 1:26:53 | 要目表のところと対比するとですね、 |
| 1:26:58 | 今日ついてない、どっかありますか。市況の資料で、 |
| 1:27:03 | なければちょっと江藤資料 1、 |
| 1:27:07 | の、 |
| 1:27:09 | ページ数で言いますと、 |
| 1:27:12 | 右っかたの 23 ページ目。 |
| 1:27:16 | の方に、そちらの抜粋を載せてございます。 |
| 1:27:20 | 規制庁鈴木ですありがとうございます |
| 1:27:24 | そ、そこは、もともと要目表として制御剤に係る次の事項として、両括弧 1 の制御棒の、 |
| 1:27:34 | 名称種類組織、 |
| 1:27:37 | 反応度制御能力で使用融資を寸法及び個数という、 |
| 1:27:42 | そのタイトルのところとして書いてあって、 |
| 1:27:46 | ここで規則上言っているのは、生業材の制御棒という話で、 |
| 1:27:54 | 先ほどの資料 2 の 6 ページで言っている 6 核燃料物質の取扱設備長施設の、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:28:02 | 基本設計方針適用基準及び適用規格の柱書きとして書くときには、 |
| 1:28:07 | 多分そこは、設備名称じゃなくって、手続き上の種別、 |
| 1:28:14 | で書かれて統一された方が、 |
| 1:28:20 | 手続きとしてはわかりやすいと思うんですね。 |
| 1:28:23 | 私の言ってる意味わかりますか。 |
| 1:28:26 | 関西電力の富樫でございます。今おっしゃっていただいたのは、この継続性けど施設の名称である制御棒と書いた方がいいんで、 |
| 1:28:40 | 制御棒という湯遊かもしくは制御材でまとめるかどっちでもいいですけど、 |
| 1:28:46 | 要するに自治規則上で言っている。 |
| 1:28:52 | 名称というか分類というか、 |
| 1:28:55 | そこでまとめた方が手続きとして書く。 |
| 1:28:59 | ものとしては、違うもの言っていないんだよってということが分かれていいかなというふうに、 |
| 1:29:07 | 関西電力の富樫でございます。ご指摘のところ、その通りではあるんですけども、一方で、我々のその基本設計方針の中で、もともと使っていた文言としましては、 |
| 1:29:19 | 制御棒クラスターという言葉も、基本設計、核燃施設の中の基本設計方針の中では用いておりましたので、そことの整合というの踏まえて、 |
| 1:29:30 | この中では制御棒クラスターという言葉を使った方がいいのかなと考えつつ、5市おっしゃっていただいた通り、計測制御系統施設の繋がりというか紐づけも踏まえて、 |
| 1:29:42 | こちら括弧書きで燃料棒というところを載せさせていただいたというところでございます。 |
| 1:29:47 | ごめんなさい。制御棒です。失礼しました。 |
| 1:29:50 | 規制庁宗です制御棒は別にいいと思ってて、それは計測制御系統施設の制御材の中の、 |
| 1:29:57 | 両括弧1、制御棒。 |
| 1:29:59 | なので、 |
| 1:30:00 | そこはいいと思ってて、制御法には、 |
| 1:30:04 | 制御計測制御系統施設の制御棒クラスターと、 |
| 1:30:11 | 貯蔵施設側の制御棒クラスターがありましたと。 |
| 1:30:16 | で、計測制御系統施設の制御棒は兼用を削除します。 |
| 1:30:23 | 貯蔵施設側の方の制御棒制御棒クラスターは、 |
| 1:30:28 | 廃止しますっていうことが、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:30:32 | そこに続けて書いてあればいいような気がするんですけど。 |
| 1:30:39 | 結局いきなりこの |
| 1:30:41 | 頭んところを、制御棒クラスタ加古制御棒はっていうのがこれが、 |
| 1:30:46 | 兼用しているものを表してますみたいな話になるとそれ以外のものは、制御棒じゃないんですかっていう話。 |
| 1:30:55 | んなっちゃってて、確かに制御棒じゃないのかもしれないですけど、 |
| 1:31:00 | そこを制御棒、 |
| 1:31:02 | ていう言い方をもともと兼用するときに使ってたんであれば、 |
| 1:31:07 | 別にちょうど施設側の方の兼用じゃない制御棒クラスタを制御棒時、 |
| 1:31:13 | じゃないとは言わなくても、 |
| 1:31:16 | 何かわかる気がする制御棒でゆとして、制御棒の中にこういうのがありましたっていうふうに言ってもいいような気がするんですけど、何かそういう言い方したくないんですかね。 |
| 1:31:30 | 関西電力の館でございます。今のお話はこの |
| 1:31:37 | 突つ。 |
| 1:31:38 | 一つ目、1、この一つ目の段落の、清涼プラスターかっこ制御部っていうところも、まず制御、ここは制御棒ではいいんじゃないかという、 |
| 1:31:49 | いうお話と、それからこのまた以降のところも、 |
| 1:31:53 | 制御棒。 |
| 1:31:54 | どうしていいのではないかと、兼用していないものも、制御棒という名前で統一して良いのではないかというご指摘かなと理解したんですけども、 |
| 1:32:05 | ちょっと我々気にしてたのは、先ほど申した通りなんですけども、基本設計方針の中で、制御棒クラスタという言葉で統一して、 |
| 1:32:13 | 使っていたので、そことの紐づけといいますか、リンク |
| 1:32:18 | が |
| 1:32:22 | 制御棒という言葉だと、少々不明確にならないかなということと、検診、今のような案にはさせていただいているところでございます。 |
| 1:32:30 | 一方で、制御棒でわかるんじゃないですかというところについては、 |
| 1:32:34 | そうなのかな。 |
| 1:32:38 | 規制庁数字生業でわかるっていうのは、計測制御系統施設が見りゃわかる、一目瞭然なので、 |
| 1:32:46 | 計測制御系統施設側の制御材のうち制御棒、 |
| 1:32:50 | という。 |
| 1:32:51 | 手続き上の名称。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:32:54 | これは、 |
| 1:32:55 | 関西電力としては、 |
| 1:32:58 | 制御棒クラスターという設備、 |
| 1:33:01 | で実現しますっていう目標に書いてあるんですよ。 |
| 1:33:04 | なので別に、 |
| 1:33:08 | 計測制御系統施設側から持ってきた制御棒って言ったらもう制御棒クラスターしかないって登録になってるので、 |
| 1:33:16 | 貯蔵施設側の方の基本設計方針制御棒クラスターって書いてあったんで、それを同じものを冊子、 |
| 1:33:22 | そうじゃなくて兼用していない制御棒クラスターがあって、 |
| 1:33:27 | もともと制御棒だったんだから、 |
| 1:33:29 | 別に制御棒って言ったっていいんじゃないかなって、私は思うんですけど、そこを書き分けなきゃいけない理由が何か本当にある、今聞いている限りにおいてははなような気がしたんですけど。 |
| 1:33:43 | ともしないんであれば、 |
| 1:33:46 | ないんであれば、資料 2 の 6 ページの、 |
| 1:33:50 | 一段落目んところをわざわざこれ、 |
| 1:33:53 | 兼用しているもの話だけに限って書いてあるわけですよ。 |
| 1:33:57 | そこは坂わけなくたって、 |
| 1:34:00 | 制御棒は、 |
| 1:34:01 | 兼用している。 |
| 1:34:04 | 制御棒クラスターと、 |
| 1:34:05 | 兼用しなくてちょうど施設が専用の制御棒クラスターあり、ありまして、前者は兼用を止めます。 |
| 1:34:12 | 校舎は廃止します。単純にかけいいだけの様な気がするんですけど、 |
| 1:34:18 | ここ一生懸命何かそういう違う別もんだって一生懸命なんか表すために、何か違う表現を一生懸命書こうとしているので、何かすごい、何かもやもや感があるんですよ。 |
| 1:34:34 | かつかつですね、ここの資料 2 の 6 ページの柱書のところに、中性子吸収集合体の話をわざわざ書かなくても、 |
| 1:34:42 | それもそもそも基本設計方針で、 |
| 1:34:44 | なくなるのはもう明らかにわかっているので、 |
| 1:34:48 | そんなのわざわざ書かなくてもいいと思うんですけど。 |
| 1:34:52 | 要は基本積方針の中で明確に見えないものをこの柱書きで、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:34:58 | ちょっと一生懸命表現しようかなっていう工夫を今回するっていうことだけの気がするので全部ここで書く必要もなくて、もう基本の方針わかりきってることは、 |
| 1:35:08 | だってもしそこまで書くんだったらね。 |
| 1:35:11 | 貯蔵領域燃焼度の所蔵領域だってやめるんだから、 |
| 1:35:14 | それ止めますとかってなんて書かないのって話になってくるわけですよ。 |
| 1:35:20 | うんそう。やっぱそれ、それはもう基本の方針で、もうそれやらないことはわかりきってるので、 |
| 1:35:26 | 23、12月23日に申請される書き方もわかってきてるので、別にそこわざわざ書かなくてもいいなんていうのがあるから言わなかったんですよ。 |
| 1:35:35 | 度ということなんですけど。 |
| 1:35:38 | 関西電力の方から、ありがとうございます大分イメージが湧きましたここはちょっと再度記載検討したいと思いますけど、記載のイメージとしては、今おっしゃっていただいた通り、 |
| 1:35:48 | 前、大体一段落を残して第2段落のまた以降はちょっと上に溶け込ませるような形でまた1個は削除する方向で、 |
| 1:35:59 | 第一段落目の制御棒というのが、兼用するものと、兼用しないものがあるって、 |
| 1:36:05 | そのうち、前者については、兼用するものについては、兼用を外す、廃止すると。 |
| 1:36:11 | それから、兼用していないものについては、 |
| 1:36:16 | 核燃施設としての各施設として廃止するといったことの趣旨で、一つの文章で |
| 1:36:26 | 簡潔に記載すると。 |
| 1:36:28 | いうところで記載を再度検討させていただきたいと思います。 |
| 1:36:42 | 規制庁鈴木です。そういうことでそこ、 |
| 1:36:46 | が、 |
| 1:36:47 | 基本設計方針でよく読めないなんていうところが柱書のところに、 |
| 1:36:52 | それだけ書いてあれば、基本設計方針の方は変更したことがわかるので、 |
| 1:36:57 | とりあえずもうOKで且つ、この間ちょっと言いましたけど、 |
| 1:37:02 | 12月23日に申請されている基本設計方針、 |
| 1:37:07 | の部分ね、本当に基本設計方針 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:37:09 | あそこは、今回特段補正するまでもない。 |
| 1:37:13 | ということになるんですよね。だから今回何も示してきてない。それで、そういう理解でよろしいですよね。 |
| 1:37:22 | はい。関西電力の富樫でございます。はい。今おっしゃっていただいた通りでしてここの核燃施設のところの、 |
| 1:37:31 | 6のこの分の柱書きのところ、兼用、 |
| 1:37:35 | と兼用じゃないものがあるということを明確に記載させていただくということで、それ以降に出てくる基本設計方針というところは、当初の申請から特に変更する。 |
| 1:37:46 | 変更しないと。 |
| 1:37:47 | いう方針で |
| 1:37:49 | 記載でき、 |
| 1:37:51 | 記載の適正化を考えたいと思います。 |
| 1:37:56 | 規制庁鈴木ですそれから資料2の7ページのところで、 |
| 1:38:01 | また制御棒クラスターを継続的にピットで保管するっていう、 |
| 1:38:08 | これはこれ、審査会合のときに、 |
| 1:38:12 | 改めて、 |
| 1:38:14 | 確認しましたが、 |
| 1:38:16 | 単なる固体廃棄物、要するに、 |
| 1:38:19 | 新規制前に使用済み制御棒、 |
| 1:38:23 | として、固体廃棄物としては、 |
| 1:38:26 | ピットに保管していたものを、新規制では、 |
| 1:38:30 | 貯蔵設備専用SA設備として制御棒クラスターとして登場させて、 |
| 1:38:37 | だけど、今回の手続きでそれが廃止になるので、また改めて、 |
| 1:38:43 | 使用済み制御棒、 |
| 1:38:46 | そして固体廃棄物、 |
| 1:38:48 | としての保管管理に、 |
| 1:38:50 | 戻りますよと。 |
| 1:38:52 | ということなので、継続保管するとかってじゃなくて、 |
| 1:38:57 | 立場変わるので、立場変わりますっていうことを、 |
| 1:39:01 | どこまで書くかですけど、 |
| 1:39:04 | 別に固体廃棄物になりますみたいな話を、もともと固体廃棄物だったもんなんで、あえて言う必要もないような気もするんですけど。 |
| 1:39:13 | ここあとちょっと、 |
| 1:39:16 | 検査の方に、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:39:17 | 聞いたのかどうかわかんないんですけど、ここ本当に何かこう、 |
| 1:39:21 | 検査事項として確認、関西電力の |
| 1:39:26 | 城間事業者検査として、何か確認項としてここ明確にしたいってことでこういうふうにかかれようとしてるんですかね。 |
| 1:39:35 | 或いは田内家の方の検査部門の方に何か聞いたりして、 |
| 1:39:39 | こう書いた方がいいみたいなこと。 |
| 1:39:44 | 関西電力の多賀鳥羽でございます。このまま、特に建設されるとして確認すると、当社としては特に考えていないところでございます。 |
| 1:39:55 | 規制庁鈴木です。それであればまず、 |
| 1:39:59 | 事業者検査として特段問題なければ、 |
| 1:40:03 | まず継続保管するのではなくてこれ固体廃棄物保管管理対象になるだけなので、 |
| 1:40:10 | そこはちょっとこの書き方だと誤解を招くかなって気がしていて、 |
| 1:40:16 | 固体廃棄物になる、なるものはもう初めから決まってて、固体廃棄物保管管理するっていうのは別のところで、 |
| 1:40:24 | 方針もあるし、保安規定の中で管理もされているので、そこに組み入れられるだけなんで、 |
| 1:40:30 | 何かそれをわざわざ書く必要性もないような、 |
| 1:40:33 | 希ガスしてですね、ちょっとここまで何か一生懸命書かなきゃいけないもんなんですかねっていうのがちょっと気になる。 |
| 1:40:41 | 7ページのところ、 |
| 1:40:45 | と。はい。関西電力の福原です。ちょっと今日の資料全般にそうですけども、我々としてはいろんな品物、 |
| 1:40:55 | 今まで登場人物というとあれですけども、が結局どうなるんですかっていうところを、やや赤裸々になっていきますか書いてきたのが今日の資料なんですけども、 |
| 1:41:08 | おっしゃる通り、兼用でない制御棒クラスターについて、 |
| 1:41:18 | 特に、 |
| 1:41:20 | そこまで |
| 1:41:22 | 本的に今回の |
| 1:41:25 | この申請を認可する、しないにあたって、特段そこはある意味、ポイントではない部分。 |
| 1:41:38 | というところも、どこまで書くかですけど今、蔵谷書き過ぎではないかっていう印象だということですか。規制庁宗です。別に書くなんで言ってるわけじゃなくて書いてもいい、いいです。書いてもいいけど、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:41:51 | 書くんだったら、正確に書こうねって言ってるわけです。 |
| 1:41:57 | すいません。 |
| 1:41:59 | 関西電力の石田ですけど、ちょっと書き過ぎやというのであれば、もともとこれ現地工事を伴わないっていう、 |
| 1:42:09 | 現地工事を伴わないっていうのをかけたかったことですので、繋がりでこう書きちゃってますんで、もともと要求がなくなることから、 |
| 1:42:19 | 変更時は伴わないぐらいで、 |
| 1:42:22 | 収めて、どうかなと。 |
| 1:42:26 | 要するにだから、 |
| 1:42:28 | 基本設計方針が変わるだけであって、 |
| 1:42:33 | 設備の登録、 |
| 1:42:35 | 等も |
| 1:42:39 | 根本的に何かこう変わるわけではなくって、なかったものをなしにするとか、 |
| 1:42:47 | 制御棒クラスタに関しては、固体廃棄物だったものを格上げしたけど元に戻しますとか、 |
| 1:42:54 | その程度のような話で、あとは貯蔵領域の話はあくまでも運用管理を変えますっていうだけなので、 |
| 1:43:01 | そういったことで現地工事が無いんですってことを言うのであれば、その辺までしっかり書き書かれた方が逆に、 |
| 1:43:09 | 良いけれども書くんだったらここ今、制御棒クラスタは継続保管するっていうところはちょっと私、引っかかっているっていうだけです。 |
| 1:43:19 | これ継続放管じゃなくてもともと設備にしてたやつを、 |
| 1:43:23 | また固体廃棄物に戻しては、 |
| 1:43:25 | 保管管理しますよっていう話なので、 |
| 1:43:28 | 何となく、これまでも継続保管してただけですみたいなふうに見えるので、 |
| 1:43:34 | そこだけです関西電力の飯田です。鈴木さんがまずアノイトウされてることは、今はちゃんと使ってるでしょうと。 |
| 1:43:42 | 成績で使ってるんだけど、今後は保管に変わるんですよっていうのをちゃんと書き分けてくださいっていうことで、 |
| 1:43:50 | そうです。でかい。さらに、保管するっていうのはどういう意味かえやないかっていうと、要するに固体廃棄物として保管管理対象になるんだっていうふうに、 |
| 1:44:00 | 書くんだったらそこまで書いた方が正確だよねと。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:44:04 | 単なる保管ってこれ名置いてあるだけなんですかみたいな。 |
| 1:44:08 | そういうふうに見えるのでいや、 |
| 1:44:10 | 放射性廃棄物としての保管管理対象になっていますと。 |
| 1:44:17 | 要するに |
| 1:44:19 | 核燃料物質取扱設備及び貯蔵施設の、 |
| 1:44:24 | 設備から放射性廃棄物側の方に、 |
| 1:44:29 | 移りますっていうそういうそういう意味合いが補が正確じゃないですか てそういうことです。 |
| 1:44:43 | で、きちんとするかかつですね何を保管管理、放射性廃棄物として管理 しますなんてそんなことまで、1字1句まで別にか、書き上げないですよ ね多分ね。 |
| 1:44:55 | ウダなのでちょっとその辺が若干違和感があるけども、書きたいんで別 に書いてもいい、いいけど、株だったら正確に書きましょうよって言っ てるだけです。 |
| 1:45:04 | 関西電力の福原です。この我々が申したいことは、まず1行目に出て くる新規設備の設置がないっていう話と、 |
| 1:45:15 | あとはもう最後ですね、何かその設備を撤去するっていう、いうことも行 わない。 |
| 1:45:24 | ていうこの二つなんです。その二つの因数分解っていうか音の要素を全 部こう書いたつもりなんですけども、今のこの書き方だと、要素の書き方 が、 |
| 1:45:37 | エレメントの書き方がやや正確じゃないよねというふうにご指摘いただ いたと理解していますので、もう、あえてあまりもう、 |
| 1:45:48 | 書かずに、 |
| 1:45:50 | 新規の設備の設置がないっていうことと何か、何らかの設備の提供伴う ものではないというこの2点を、述べるにとどめる記載にしたいと思いま す。 |
| 1:46:02 | 原子炉規制庁鈴木あそこじゃお任せしますはい。 |
| 1:46:07 | じゃ、資料2の6ページ7ページに関連したところの確認、規制庁側か ら他に。大丈夫ですか。はい。以上になるので、 |
| 1:46:20 | あとは資料2-1。 |
| 1:46:22 | 1ですかね。 |
| 1:46:25 | そちらであればそちらの方のちょっと説明を、 |
| 1:46:28 | 一度していただいてから確認に入りたいと思います。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:46:37 | 関西電力の富樫でございます。すいません規制庁です。ちょっとですねこの後、 |
| 1:46:43 | 別件が入ってますよね。 |
| 1:46:49 | そこを、 |
| 1:46:51 | 定刻通りやりたいんであればちょっと若干、 |
| 1:46:55 | まいて、 |
| 1:46:57 | ちょっとあまり細かい説明せずに、概要的な感じで、 |
| 1:47:01 | やっていければ、 |
| 1:47:06 | 関西電力の富樫でございました。そうしましたら、要点を絞って説明させていただければと思います。 |
| 1:47:12 | 資料 2-1 の |
| 1:47:18 | 具体的な反映したところが 14 ページ、15、14 ページ以降になってございまして、 |
| 1:47:26 | そちらでちょっと頭から説明させていただければと考えています。 |
| 1:47:31 | 別紙 6 ですけれども、上からまず、 |
| 1:47:36 | 評価には最適評価手法を採用するというものが使われてましたけれども、こちら資料全体通じてですね、記載の適正化 |
| 1:47:44 | を実施してます。 |
| 1:47:46 | もう用いることを止めておりますすべて。 |
| 1:47:52 | ここの部分についてはこれ、この部分がなくても、我々が伝えたい説明するのはできますので、そういった趣旨で削除しております。 |
| 1:47:59 | それから、次のところですねこの赤囲みのところですけども、この赤囲みのところは、当初のコメントとしまして |
| 1:48:11 | 添付資料 8 の条件っていうのを、こちらの中で、しっかりか、 |
| 1:48:16 | 各書いておくべくなべきというところに対して、書いていたんですけども前後関係ですね、説明の順番が少し |
| 1:48:28 | 順序逆になってる部分があるんじゃないかというところで、まずこの上の赤学校のところで瀬、 |
| 1:48:35 | 解析の条件設定の基本原則を書き、 |
| 1:48:38 | 書いた上で、その後ろに、フロー図ですね、どういうふうにパラメータを設定してやっていくのかというところの説明を書かせていただいて、そのあとに、添付 8 の具体的な設計条件、 |
| 1:48:51 | を記載しているというところになってございます。 |
| 1:48:54 | なおですねこちら、15 ページの後ろの部分、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:48:59 | もともと海水中の塩素によるっていう説明ありましたがこちらはな お書きで、今回は保守的に優雅施策なりを考慮しないこととするとい うような記載にしております。 |
| 1:49:09 | すいません。ページ 14 ページに戻っていただきまして、 |
| 1:49:14 | ちょっと緑囲みで記載させていただいておるところですけども、不確か さ不確定性の定義というところで、こちら各パラメータに対するばらつき というところで不確かさ。 |
| 1:49:27 | というという記載をさせていただいてございます。 |
| 1:49:30 | で、不確定性という文言については 16 ページですね。 |
| 1:49:35 | こちらも緑の吹き出しで書かせていただいております、確定制度の解 析モデル、警察ほど政策構成に対するばらつきの液を実効増別監査に 直したものを指すというような説明を加えさせていただいて、 |
| 1:49:48 | 続いて 15 ページですけども、に戻りまして、15 ページの真ん中中段の ところで、こまて密状態においても、 |
| 1:49:59 | いう記載ですけども、こちら、ちょっと記載が不適で説明したので、 |
| 1:50:04 | ここは削除して |
| 1:50:07 | 文意が通るように |
| 1:50:09 | させていただいております。 |
| 1:50:12 | それから続いてその下ですけども、(7)の対応というところで、 |
| 1:50:19 | こちら、 |
| 1:50:22 | SFピットの |
| 1:50:24 | 水水水の条件と液相部の水水の条件として、1 を採用してることについ て、最も評価結果が厳しくなることからというところで、結果だけを書い ていたようなところだったんですけども、もう少し記載を充実化させて、 |
| 1:50:39 | この部分は記載しております。で、こちらの具体的な説明につい ては、もともとの申請書、 |
| 1:50:49 | の方の別添、 |
| 1:50:56 | 設定 1、 |
| 1:50:57 | の方に図をつけて説明してまして。 |
| 1:51:02 | ページで言いますと、 |
| 1:51:07 | 別添 1 の 2 ページ目ですね。 |
| 1:51:09 | 1.1 の 2 ページ目の、 |
| 1:51:11 | 上側に図を、 |
| 1:51:13 | つけておりまして、 |
| 1:51:18 | その上の部分、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:51:20 | 箱囲みで、高密度領域というふうに示しておりますけど、こちらの図で示していたところの節で説明書き変えて、 |
| 1:51:32 | は、 |
| 1:51:34 | 申請書の |
| 1:51:36 | T1ー別添 1ー2 です。 |
| 1:52:00 | はい。 |
| 1:52:01 | その中で示しているこの高密度。 |
| 1:52:04 | 工水水の領域ですね失礼しました。 |
| 1:52:06 | の中で、一番厳しいところとして、1、 |
| 1:52:10 | を用いるというところを、ここの、での説明文、 |
| 1:52:15 | を参考に、ここでも、しっかり記載すると。 |
| 1:52:18 | いうところでこのような記載にしております。 |
| 1:52:23 | 続いて資料 2ー1 の |
| 1:52:27 | 16 ページ目でございますけれども、こちらは少し重複しますけど先ほどの判定基準評価結果のところに、評価の判定基準等を記載しているところですよ。 |
| 1:52:39 | それから、 |
| 1:52:41 | 17 ページ目ですね、別紙 7 と書いてあるところですけども、 |
| 1:52:45 | ここは、 |
| 1:52:48 | 今回、演出を考慮しないことについて、設置許可との整合について、次回資料です、記載することというところで、こちらの許可整合の資料の中で、 |
| 1:53:00 | 赤囲みのところで記載するということを実施しております。 |
| 1:53:06 | それ以降の、別紙 8 については、申請書の中で演奏の機能を、 |
| 1:53:12 | 結果を考慮して今後こういった形で |
| 1:53:15 | 適正化するといったところになってございます。 |
| 1:53:19 | 簡単ですが説明以上になり、 |
| 1:53:25 | 規制庁スズキです資料 2ー1 の、 |
| 1:53:30 | まず、 |
| 1:53:32 | 15 ページ、まず 14 ページですね、14 ページの書き方については、 |
| 1:53:37 | イメージ的にはこういう方が説明がとりやすくてわかりやすいのかなというふうに思いますので、 |
| 1:53:43 | そこについては特段、気にかけてるところはないですんで、 |
| 1:53:49 | 15 ページの最後の演奏のところですね、 |
| 1:53:53 | まず、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:53:54 | いきなり演奏についてはあって、 |
| 1:53:56 | 何のことかわからない。 |
| 1:53:59 | アノ。 |
| 1:54:00 | 損。 |
| 1:54:01 | もともと書いてある。 |
| 1:54:03 | 解説中の演奏による中性子吸収。 |
| 1:54:06 | ていうものの、 |
| 1:54:08 | 説明をちゃんと書いといた方が、 |
| 1:54:12 | で、それは良くてと。 |
| 1:54:16 | そのあともですね、すごい引っかかるのが保守的になんですよ。 |
| 1:54:20 | そもそも、14 ページで言っている、 |
| 1:54:29 | 14 ページで言っている上側の赤は赤を赤囲みのところには保守的になんて何も書いてないんですよ。 |
| 1:54:38 | 原則自構造物に対して、 |
| 1:54:41 | ちょっと待ってくださいね。 |
| 1:55:06 | 越冬 |
| 1:55:09 | 保守的になってというのが 14 ページの上側の赤囲みのところに書いてなくてそもそもこれ実行動物に対して余裕が小さくなるよう設定するっていうところは、 |
| 1:55:20 | 保守的だとか何とかって話じゃないと私は思っていて、 |
| 1:55:24 | じゃあ何で 15 ページで保守的に実効増物に対して余裕が小さくなるよう考慮しないって、こういう話になっちゃうのかなと。 |
| 1:55:33 | 思うわけなんです、 |
| 1:55:34 | これ、別になんか何も言い訳する必要ないと私思ってた、 |
| 1:55:42 | もともと基本設計方針の中に、今回の試金石方針ですね。 |
| 1:55:48 | 制御棒クラスター等の中性子吸収効果を考慮せずにいって言っていて制御棒クラスター等の等って何ですかっていうと、 |
| 1:55:58 | ホウ酸だとか、 |
| 1:56:01 | バーナブルポイズンだとか、 |
| 1:56:04 | そういったものを言ってるわけで、 |
| 1:56:07 | 中性子吸収効果があるけど、期待しないもの。 |
| 1:56:11 | としてやりますよって書いてあるこの頭ん中に、 |
| 1:56:14 | この回数中の映像の話も入ってるというふうに言えば別に何の違和感もなく、 |
| 1:56:21 | 今回はそういうふうになりましたって、なお機械時はそれでいいだけ。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:56:27 | だと思ってて、 |
| 1:56:28 | 評価条件の設定の考え方になんか絡めて、 |
| 1:56:31 | ここが保守的だからこうしたんだとか何とかっていう必要性があるのかな。 |
| 1:56:35 | ていうのがすごい違和感です。 |
| 1:56:40 | それからこれ質問じゃなくてそういう印象です。 |
| 1:56:45 | それからですね、 |
| 1:56:49 | 15 ページの一番下の、 |
| 1:56:52 | 崩壊熱と水密度の話なんですけど、 |
| 1:56:57 | これを |
| 1:57:01 | 先ほど今申請書の中に書いてありますって言ってましたけど、これ、今回補足説明に移しますよね。で、 |
| 1:57:07 | ここでの説明の内容っていうのは、今回、いろんな |
| 1:57:12 | 評価を変えます。 |
| 1:57:14 | 次、実態に即してどうなってるかみたいな現象の進展みたいなもの含めて、 |
| 1:57:20 | どういう評価をしたらいいかっていうのを考えるっていうのがこの別添 1 に書いてあると思っていて、 |
| 1:57:26 | その中で、 |
| 1:57:28 | 新燃料敷き詰めのことも含めて、 |
| 1:57:31 | 要するに崩壊熱がないとか、仮に例えば非常に小さい崩壊熱だってこと含めて、 |
| 1:57:38 | そもそも液相中の沸騰みたいなことを考えなくていいよねっていう話はもう、 |
| 1:57:44 | 評価の前提だと思ってるんすよ。 |
| 1:57:46 | 評価のやり方として議論してる話なので、 |
| 1:57:49 | これ評価条件の話じゃなくて、 |
| 1:57:52 | ここにあってな書く必要性がないんじゃないんですかっていうのが私のもともとの。 |
| 1:58:01 | 意見というか、 |
| 1:58:03 | 印象です。 |
| 1:58:04 | もしそこを書かなきゃいけないっていうんだったら、 |
| 1:58:07 | 14 ページのところで、言っているような、 |
| 1:58:12 | 注入してる話に対してね、崩壊熱がどういう振る舞いをするかみたいな。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:58:19 | 話を、ごめんなさい 14 ページの 15 ページですね、15 ページで流入させている注水スプレイ放水。 |
| 1:58:28 | これらの、 |
| 1:58:29 | 条件設定に崩壊熱がどういう振る舞いを与えるかっていう話まで議論してけ、いけない話で、 |
| 1:58:37 | でもそんなしてないですよ。何でしてないかっていうと、 |
| 1:58:40 | 今回、新燃料敷き詰め或いは当初は、 |
| 1:58:44 | 多少 |
| 1:58:47 | 使用済み燃料まで含めてやるみたいな話許可の時に言ってたんですけど、 |
| 1:58:52 | まだとしても、そんな崩壊熱ないよねって話で崩壊熱による、 |
| 1:58:58 | 景気対向流みたいな。 |
| 1:59:00 | 現象まで取り込まなくてもいいんだ。 |
| 1:59:03 | もう単純に企画的に考えりゃいいんだっていうような話を、 |
| 1:59:07 | 最初に作ったので、なぜここだけ。 |
| 1:59:10 | いきなり液相中の水溝の話ん、どう考えますか崩壊熱、どう考えますかみたいな話を、 |
| 1:59:17 | する必要性が私ないと思ってるんですね。 |
| 1:59:20 | もうそれはもう、すぐもっと以前のもの |
| 1:59:24 | 計算条件とかじゃない。 |
| 1:59:26 | と思っているので、 |
| 1:59:28 | 私はいらないと思うんですけど。 |
| 1:59:31 | かつ補足説明その説明もされているので、 |
| 1:59:35 | こういう高密度領域の話とか何とかって話とは私は思わないけど、 |
| 1:59:42 | このこの話し始めると、 |
| 1:59:45 | 高浜 12 はアングルがたなんで、 |
| 1:59:49 | こういう議論になるかもしれないけど、キャン型の場合、 |
| 1:59:53 | 多分沸騰したらですね、ボイド率 9 割ぐらいまでいきます。 |
| 1:59:59 | 他に高いときは、これ何でかっていうとBWRのチャンネルボックスをつけた燃料集合体って、 |
| 2:00:06 | 大気圧条件下で、 |
| 2:00:08 | 崩壊熱が高いとですね。 |
| 2:00:11 | チャンネルボックスの中のボイド率 90.9 までいくんですよ。 |
| 2:00:16 | 0.9 を超えてくると、もう核沸騰の領域とかそういったところすっ飛んでいっちゃって、BTしちゃいますみたいな議論してるので、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:00:23 | キャン型だとそういう現象があるかもしれないですけど、アングル型だったらかう横逃げちゃうんで、 |
| 2:00:28 | こういう議論になるかもしれないですけどただそんな話する必要もないなっていうふうに私は思ってるんですよ。 |
| 2:00:36 | うん。あんまりだから書き過ぎないほうがいいかなって気がしてるんですけど。 |
| 2:00:40 | 関西電力の福原です。今ちょっと我々書いてますのはちょっと先ほどご覧いただいた資料別添 1 のこの図で言うところの高密度領域の一番その冠水のところ、 |
| 2:00:53 | もうここを見ることによって一番安全が保守的なんですよという意味でここを使ってますという説明なんですけども、もうそれ以前に、そもそももうピットの崩壊熱云々って話は、 |
| 2:01:06 | もう許可の時からそこまで議論しないということになってるんだから、液相部の水密度に 1 使うのはもう当たり前でしょって言う。そこはもう前提出発点だっていうつもりで説明を始めればいいんじゃないですかと。 |
| 2:01:21 | いうふうに理解しました。はい。 |
| 2:01:23 | はい。そこは、そういうつもりで考えていただければということで、 |
| 2:01:29 | それから、不確定性の定義のところなんですけど 17 ページ、16 ページ。 |
| 2:01:38 | 製作公差に対するばらつきこれはわかるんですね。 |
| 2:01:42 | だけど、 |
| 2:01:43 | 計算コードに対するばらつきってないっすよね。 |
| 2:01:48 | これ要するに、 |
| 2:01:51 | 適用妥当性で芝伊井を見ましたみたいな話があれって、ばらつきじゃなくって、 |
| 2:01:58 | どのぐらいの数、精度をもって再現できるかっていう議論をしていて、あるばらつきとは言わないと思ってるんですけど。 |
| 2:02:06 | 精度の話だと思ってるんですけど。 |
| 2:02:09 | そん中ちょっと書き方おかしいなって気がするし、もう一つここに解析モデルって入ってくるって話で初めて聞いて、 |
| 2:02:17 | 解析モデルって何ですかって。 |
| 2:02:19 | 話で、今見ての計算コードの不確定性と、製作公差当院。 |
| 2:02:26 | 基づく、 |
| 2:02:27 | 不確定性だけしか見てないので、解析モデル、なんでここに入ってきちゃうんですかっていう、そういう疑問がある。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:02:34 | 何か新たな、 |
| 2:02:43 | 関西電力富樫でございます。 |
| 2:02:45 | 江藤。ここは不確定性としてですので、おっしゃるように、解析モデルではなくて、計算コードとそれから製作公差に対するものを書くべきだと。 |
| 2:02:56 | 考えますので、ここちょっと適正化させていただきたいと思います。加えて、前半でご指摘いただいた統計と政策工数に対するばらつきとはいえるけども、 |
| 2:03:06 | 計算コードに対しては、計算コードの精度、 |
| 2:03:11 | の影響、計算コードの精度及び製作公差に対するばらつきの影響を、実効増倍率換算して表したものを指すというような記載に改めたいと考えております。 |
| 2:03:23 | 規制庁都築ですそれでしたら書いてある通りですので、ピーティング |
| 2:03:28 | いうふうに |
| 2:03:31 | それから、 |
| 2:03:35 | 3 ポツさ両括弧 3 ポツの感度解析の話は最初に申し上げた、 |
| 2:03:41 | 通りです。で、 |
| 2:03:43 | その下のbポツのアンダーラインが引いてあるところは今日の話からすると若干書き方が変わったりするか、可能性もあるので、もう一度書き直されてから見てみたいと。 |
| 2:03:57 | それと、17 ページの、 |
| 2:04:00 | 整合性の欄に赤枠で書いてあるんですけど、 |
| 2:04:05 | さっきのね、演奏の話って単に考慮しないだけですっていう話であれば、 |
| 2:04:11 | どうだナカセ整合性も何もないような、 |
| 2:04:14 | 気がしていて、ちなみにテンパチで書いてある塩素による中性子吸収効果っていうのは、 |
| 2:04:21 | 考慮しなくなりましたぐらいが、 |
| 2:04:23 | 備考欄ぐらいに、 |
| 2:04:26 | あればいいんじゃないかなって個人的には思いますけれども、ちょっとここまでで大体私の、 |
| 2:04:34 | 疑問に思うところと、 |
| 2:04:38 | 印象は言ったんですけどね、規制庁側から他に何か、 |
| 2:04:42 | 今んとこ含めてありますか。大丈夫ですか。 |
| 2:04:54 | 関西電力の富樫でございます。 |
| 2:04:56 | 1、別紙 7 のところは、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:05:00 | 許可との整合っていうのを説明してくださいというふうに受け取っておりますので、整合性の欄に書くのが適切なのかなと我々思っておりますけれども、 |
| 2:05:11 | 先ほどの議論といいますか、ご意見も踏まえて、ここは単にそういうふうな考慮しないような評価を実施することにしたという、 |
| 2:05:21 | ことととらまえて備考の欄に、 |
| 2:05:24 | 説明を書くと。 |
| 2:05:26 | いうことにさせて、 |
| 2:05:29 | ということを検討させていただきたいなど。 |
| 2:05:32 | 規制庁鈴木です |
| 2:05:34 | まず一つこの |
| 2:05:37 | 許可との整合性のこの表の、 |
| 2:05:39 | 書き方って決め、決まってるので、多分今書き方が違いますよね。 |
| 2:05:45 | ルールとちょっと若干違うことを書いてありますよね。いやそもそも、 |
| 2:05:49 | 本文と基本設計方針の違いがあるところにはアンダーライン引いて、それに対して整合性があるかどうかで整合性の欄で説明するっていうルールになってる、そう書いてありますね確か。 |
| 2:06:01 | 前文のところですね。 |
| 2:06:02 | なので、何かこなんてテンパチの話を一生懸命ここで整合性なんで、 |
| 2:06:08 | 説明しなきゃいけないのかな、かつ何か意味あるような説明をしなきゃいけないのかなっていう観点でさっきお話したように、単純に基本設計方針に従って、そこはもう考慮しないことにしたんですっていうだけだったら、 |
| 2:06:21 | ちょっとテンパチんところは浮いてるんで、備考欄ぐらいに、 |
| 2:06:25 | ちょっと注釈として、誤解がないように読んでねっていうふうにぐらい書いとけばそれでいいんじゃないかなって思ったっていう、 |
| 2:06:36 | 関西電力の富樫です。はい。失礼しました。こちらそのように記載修正する方、方で検討させていただきたいと思います。 |
| 2:06:47 | 規制庁スズキです。今日出していただいている中で、大体気になったところ等は一通り、 |
| 2:06:55 | 節話をしたつもりでいます。で、 |
| 2:07:01 | 演奏。 |
| 2:07:04 | による中性子吸収効果を考慮しない解析に差し替えたというところは、特段何も意見もなく、変わってますねってだけ |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:07:14 | そこは全然良くて、傾向とかそういったところも変わってないってことは理解してるので、 |
| 2:07:20 | そこについては特段、何も言うことはない、ないです審査会合の方でしっかり説明をしていただければ結構です。今日、 |
| 2:07:28 | お話してた解析の部分ところの話はもう少しわかりやすく、 |
| 2:07:34 | 説明をしていただけるような形にされた方が、 |
| 2:07:39 | 引っかけなくいけるかなっていうふうに思います。 |
| 2:07:42 | 関西電力の福原です解析の結果のところはグラフだけ見てみますと、どこがどう変わったんだっていうレベルしか変わってないですけども、数字デジタルではしっかりわずかに変わってますという、 |
| 2:07:57 | はい。規制庁鈴木です。今日の治療では大体異常だと思いますけど、 |
| 2:08:03 | 関西電力他に何か |
| 2:08:05 | 確認しておきたいこととか、 |
| 2:08:08 | ここは説明しておきたいみたいなのところがありますか。 |
| 2:08:12 | 考えることトガシでございます。今後のスケジュール等についてなんです。 |
| 2:08:20 | 失礼いたしました。内容等については特にございません。規制庁鈴木です。わかりました。じゃあ今言ったスケジュールの話に移ります。 |
| 2:08:30 | まだ確定してないんですけど、 |
| 2:08:34 | 6月の19の週に、今、 |
| 2:08:38 | 次の審査会合エントリーしています。確定するのが今週末ぐらいなので、来週頭にはお伝えできると思います。 |
| 2:08:48 | 今エントリーしてるのは20日、火曜日の午前中。 |
| 2:08:54 | にエントリーしてます。 |
| 2:09:00 | その感じからすると今日の話を受けて、 |
| 2:09:04 | 資料をもう少し、 |
| 2:09:06 | 見直していただいたものを出していただいて、 |
| 2:09:12 | E業務だけ読んでああそうだねっていうぐらいであれば別にヒアリングなくてもいいかなって気もしますが、一応、もう1回ヒアリングやるつもりで、 |
| 2:09:22 | 考えると、 |
| 2:09:25 | 来週、 |
| 2:09:30 | 今んところなの。 |
| 2:09:32 | カーは時間を抑えてますので、 |
| 2:09:36 | そこまでに何か出せるのであれば、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:09:40 | 遅くとも9日ぐらいまでには、 |
| 2:09:46 | ヒアリングは終わらしたい。 |
| 2:09:49 | その翌週からもう庁内の方で我々説明に回りたいと思う。 |
| 2:09:57 | そんなスケジュール感で資料を直したりするの大丈夫そうですか。 |
| 2:10:06 | 関西電力の富樫でございます。そのスケジュール感で対応させていただきたいと考えております。 |
| 2:10:10 | 規制庁続けじゃ具体的に資料いつ出せるかは、東京支社として、ご連絡をお願いします。 |
| 2:10:18 | 関西電力の平尾ですけども。 |
| 2:10:19 | 会合の前に補正申請を行うといった話は、確かあったかと思うんですけども、 |
| 2:10:26 | 補正申請を行う場合やっぱり20日のタイミングで補正申請書も資料として積むことになるのかなと。 |
| 2:10:33 | 思ってたしてそうした場合の、 |
| 2:10:36 | 補正申請書としての提出、 |
| 2:10:40 | 補正申請ですかね。 |
| 2:10:42 | ていうのが |
| 2:10:43 | おそらく9日以降になると考えてましてそしたらその9日のヒアリングに補正申請書がちょっと積めないのかなと。 |
| 2:10:51 | 思ってるんですけども。 |
| 2:10:52 | その辺の |
| 2:10:54 | 順番感といいますかその辺はどう考えさせていただいて、大体よろしいでしょうか。規制庁宗です補正の方向性は今日少し議論、 |
| 2:11:03 | したと思っているので、審査、前回の審査会合の、 |
| 2:11:08 | 議論を踏まえて、大体そういう方向性かなっていうところはあっていると思っているので、 |
| 2:11:13 | 別に |
| 2:11:15 | し、次の審査会合のときに、補正を一緒に乗っけて、そこも簡単に説明するみたいな。 |
| 2:11:23 | ことを入れたいのであれば、できれば審査会合の、 |
| 2:11:28 | 前の週に補正してもらえると、我々としては、 |
| 2:11:33 | 対応しやすいかな。 |
| 2:11:34 | なぜなら、審査会合資料の、 |
| 2:11:38 | 正式提出等に含めていただきたいので、そこに間に、 |
| 2:11:44 | ロジに間に合うように、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 2:11:46 | 出していただきたいということです。 |
| 2:11:51 | 関西電力の福原です審査会合資料の同時提出に間に合うように補正申請書もマツノであればそこに積む必要があるということですよね。その場合、仮に補正申請。 |
| 2:12:02 | の内容、ダイレクトな内容に関してはヒアリングなしで会合臨むことになるかもしれないけども、そこはもうある意味 |
| 2:12:12 | 構わないっていうかそこはいいということですか。規制庁杉です先ほど言いましたように前回の審査会合で、 |
| 2:12:20 | 大体方向性は方向性とか、どんなことをやりたいよってことは確認済みなので、 |
| 2:12:26 | あとは記載の提出今日言って話したような体裁の話だけだと思っているので、 |
| 2:12:32 | そこをちゃんと含んだ形で、補正が出てくれば、 |
| 2:12:37 | ぶっつけ本番で別に補正の説明をしていただく分には問題ないと思っていますし、違うものが出てきたら、もう1回って話になっちゃうので、 |
| 2:12:47 | そこは関西電力が、 |
| 2:12:52 | 今日までの |
| 2:12:53 | 話含めて出すつもりでいるのであれば、特段我々はそこは、 |
| 2:12:58 | ぶっつけ本番でもいいかなと思ってます。 |
| 2:13:02 | 関西電力の福原です。そうしましたら今日の議論も踏まえて補正申請の作業っていうか、粛々と進めさしていただいて、準備でき次第、もし自然体でっていうとあれですけども、 |
| 2:13:17 | 申請させていただくというような感じで、まずは考えたいと思います。 |
| 2:13:22 | 規制庁杉です補正については、多分プレス発表とか、地元との関係とかっていうのは、 |
| 2:13:31 | ないものなのかなっていうふうに、 |
| 2:13:33 | もしそういうのがあるのであれば、 |
| 2:13:36 | 直前にお知らせいただくよりかは、数日前ぐらいには、そういう状況も含めて、 |
| 2:13:43 | ご連絡をいただけないと我々もちょっと対応できないので、そこだけちょっとご理解、 |
| 2:13:56 | 規制庁側からスケジュール感ところは、ほかによろしいですか。大丈夫ですね。はい。 |
| 2:14:01 | 我々からスケジュールも含めて以上ですけど葛西電力全体として、 |
| 2:14:07 | 他に何かあります大丈夫ですか。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 2:14:09 | じゃあこれで今日ヒアリングを終わりたいと思いますどうもありがとうございました。 |
|---------|---|

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。